

第2回 草津市草津川廃川敷地土地活用検討委員会 会議次第

日 時 平成22年6月29日(火)
午前9時30分から
場 所 草津市役所8階大会議室

1. 開会

2. 報告事項

(1) 草津川廃川敷地の暫定活用の経緯について(資料1)

(2) アンケート調査結果について(資料2)

3. 審議事項

(1) ゾーンイメージについて(資料3)

4. その他

次回検討委員会の日程等

5. 閉会

【資料】

資料1	:	草津川廃川敷地の暫定活用の経緯について
資料2	:	草津川廃川敷地の土地活用に関する市民アンケート調査結果
資料3	:	ゾーンイメージについて
参考資料1	:	草津川廃川敷地及び沿川の現況特性図等

草津川廃川敷地の暫定活用の経過について

平成15年度に、草津川廃川敷地が国から県に財産譲与により管理移管がなされたことに伴いまして、県と市で道路等の管理区分を決めるため、「草津川廃川敷地の管理に関する協定書」を締結しました。この協定期間は、具体的な土地利用に伴う工事が実施されるまでとされています。

平成16年度には、草津川廃川敷地について適切かつ良好な維持管理や敷地活用を行うために、地域住民の代表や各種団体の代表、公募委員、滋賀県、草津市、栗東市で構成される「草津川廃川敷地の管理・活用を考える協議会」が設置され、旧草津川の暫定活用と維持管理について9回の会議が行われました。

平成17年度は、前年度の協議会の結論をとりまとめた報告書が作成され、その報告書には、暫定活用の基本的な考え方、維持管理の基本的な考え方という枠組みと暫定活用ゾーン図が示されました。メロン街道から浜街道までを「自然的利用ゾーン」、浜街道から大江霊仙寺線までを「スポーツと健康ゾーン」、大江霊仙寺線から国道1号までを「花と緑の文化ゾーン」、国道1号からJR東海道新幹線までを「遊びと広場のゾーン」と4つのゾーンが示されました。また、その具現化として、運営委員会を設置し、協議・検討していくこととなり、「草津川廃川敷地の管理・活用にかかる運営委員会」が設置（平成17年8月25日に施行）されました。その中で、旧草津川の暫定活用について維持管理を含め滋賀県と活用団体が協定を締結されました。協定の期間は、具体的な土地利用が実施されるまでの期間とし、恒久的な土地利用がされるまでとなっています。

平成19年度は、市が暫定活用を図るために、県と市で「草津川廃川敷地の管理および暫定活用に関する協定書」を締結しました。管理協定による区域は、木川川原線（新田橋）～大路16号線（草津川橋）までのL=約1.7km、管理協定の期間は、具体的な土地利用が実施されるまでの期間とし、恒久的な土地利用がされるまでとなっています。

平成20年度には、今後、旧草津川の暫定整備を進めていくための「ワークショップ」が9月～12月にかけて、4回開催され地元の方々の意見を取り入れた「市民提案図」が作成されました。資料1-1が4回のワークショップの内容であり、地元の皆さん32名の方に現地視察のうえ、意見交換をしていただき、最終的に、資料1-2の市民提案図としてまとめていただきました。

草津川廃川敷地の暫定活用に関する経過

- 平成14年 6月 14日 草津川放水路の通水により廃川告示される
- 平成15年 4月 14日 国(国土交通省)から滋賀県へ財産譲与(管理移管)される。
JR東海道新幹線～メロン街道(L=約5.7km,約40.0ha)を県の普通財産として管理される。
- 4月 8日 財産管理について市と県で「草津川廃川敷地の管理に関する協定書」の締結。
協定の期間は、具体的な土地利用に伴う工事が実施されるまでの期間とする。
- 平成16年 10月 地域住民の代表や各種団体の代表、公募委員、草津市、栗東市、県を交えた
「草津川廃川敷地の管理・活用を考える協議会」が設置された。
(9回実施 中瀬会長他22名、事務局10名)
- 平成17年 6月 「草津川廃川敷地の管理・活用を考える協議会」より報告書が提出される。
報告書の中で、「草津川廃川敷地の管理・活用にかかる運営委員会」の設置が提言され、
設置される。
- 8月 「草津川廃川敷地の管理・活用にかかる運営委員会」平成17年8月25日施行。
(小林会長他13名、事務局7名) (以降1年に2回開催)
- 平成19年 3月 30日 「草津川廃川敷地の管理および暫定活用に関する協定書」の締結。(市と県)
管理協定による区域、木川川原線(新田橋)～大路16号線(草津川橋)までのL=約1.7km
- 平成20年 6月 4日 草津川廃川敷地の管理・活用にかかる運営委員会の開催(議題は砂川大橋)
- 9月～12月 旧草津川広場暫定整備計画のため4回ワークショップ開催市民提案図作成。
(市の道路課主催)

かわら版

発行：草津市 道路課

草津川鹿川敷地（栄橋～草津川橋）の利用方法を、住民が主体となって考えるため『旧草津川広場整備ワークショップ』を開催しました。このワークショップの最終目標は、利用方法を計画し、「市民提案図（案）」を作成することです。9月～11月の3ヶ月間で、全4回を予定しております。第1回ワークショップは下記のプログラムで実施しましたが、皆さんから「こんな広場があったらいいな！」「こんな使いかたができたらいいな！」と色々な意見が飛び交う、活気のあるワークショップとなりました。



～第1回ワークショッププログラム～

テーマ：「こんな広場にしたい！」のイメージを考える

日時：平成20年9月2日（火）

19：00～21：00

場所：草津公民館

参加人数：27人

内容：*ワークショップの概要説明

*草津川鹿川敷地の利用について考える（グループミーティング）

*グループ発表会



こんな意見が出てきました！

- *子供が安心して遊べる広場
- *スポーツが楽しめる空間
- *桜並木の道
- *貸出可能な家庭菜園

- *小動物の飼育（ヤギ、ヒツジ、ウサギ）
- *歴史を伝えられる広場
- *駐車場・駐輪場としての空間利用
- *人工池を作る！



☆第2回開催予定☆

テーマ：現場視察をした上で、「こんな広場にしたい！」のイメージをカタチにする

内容：①現地視察

②広場イメージ図の作成（グループミーティング）

③グループ発表

日時：平成20年9月21日（日）10：00～12：00

場所：草津公民館

かわら版

発行：草津市 道路課

草津川鹿川敷地（栄橋～草津川橋）の利用方法について考える、第2回ワークショップが開催されました。今回は参加者の皆さんと現地を視察し、その後、第1回ワークショップで考えた、「こんな広場にしたい」というイメージをもとに、「ここはここも遊べる空間にしたい！」「この辺りに桜を植えよう！」「この場所はランドゴルフ場にしよう！」といった、より具体的な意見交換をおこない、イメージをカタチにするための広場イメージ図を作成しました。



～第2回ワークショッププログラム～

テーマ：現地を視察した上で、「こんな広場にしたい！」のイメージをカタチにする

日時：平成20年9月21日（日）

10：00～12：00

場所：草津公民館

参加人数：15人

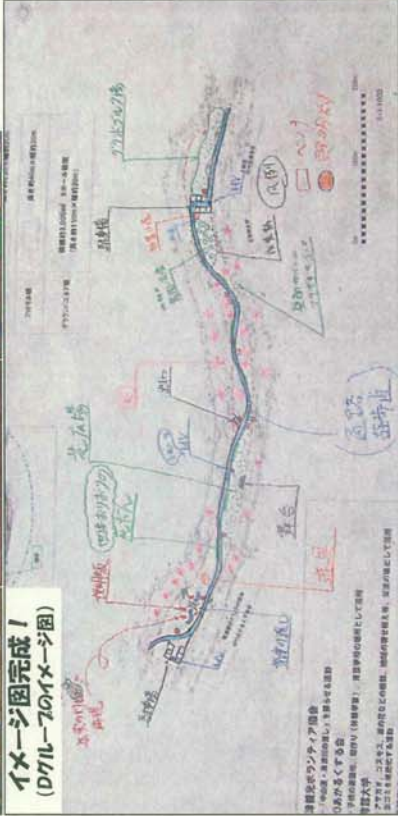
内容：*現地の視察

*広場イメージ図の作成（グループミーティング）

*グループ発表会



イメージ図完成！ （Dグループのイメージ図）



☆第3回開催予定☆

テーマ：各グループが考えた「広場の計画」を意見交換をしながらひとつにまとめる

内容：①イメージ図の確認 ②各グループのイメージ図をひとつにまとめる

日時：平成20年10月24日（金）19：00～21：00

場所：草津公民館



かわら版

発行：草津市 道路課

旧草津川広場整備 第3回ワークショップを開催しました！！

草津川扇川敷地（栄橋～草津川橋）の利用方法について、第3回ワークショップが開催されました。

今回のワークショップでは、今までに各グループ（A～Eの5グループ）で作成してきたイメージ図の内容を、もう一度アピールして頂いた上で、参加者全員で意見を交換しながら、また合意形成を図りながらひとつひとつまとめ、「市民提案図（案）」を完成することができました。

第4回ワークショップ（最終回）では、最終的に仕上げた「市民提案図（案）」を発表させていただきます。

～第3回ワークショップの内容～

日時：平成20年10月24日（金）19：00～21：00
 場所：草津第2公民館
 参加人数：23人
 内容：市民提案図（案）の作成



各グループのアピールタイム！！の様子



Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ



Eグループ



旧草津川広場整備ワークショップ

市民提案図（案）

＜位置図＞



かわら版

発行：草津市 道路課

旧草津川広場整備 第4回ワークショップを開催しました！！

最終回ワークショップでは・・・

市民提案図（案）の最終確認をおこない、本ワークショップの成果である「市民提案図」を完成させました！

草津川扇川敷地（栄橋～草津川橋）の利用方法について、第4回（最終回）ワークショップが開催されました。

今回のワークショップでは、

- ①旧草津川広場整備に関する滋養県との調整途中経過の内容
- ②市民提案図（案）に対する変更箇所

について説明した上で市民提案図（案）の最終確認を行いました。

いくつかの課題は残るものの、「市民提案図」を完成させることができました。

～第4回ワークショッププログラム～

日時：平成21年2月17日（火）19：00～21：00
 場所：草津公民館
 参加人数：26人
 内容：市からの現状報告、完成イメージの確認



第4回ワークショップの開催風景

■ Q&A

第4回ワークショップの中で次のような質問がありました。

【質問】草津川扇川敷地管理活用契約について（滋養県と市民団体）
 【回答】各市民団体が県と結ばれている契約内容を尊重したものとなるよう、慎重にワークショップを進めてきました。各市民団体にもワークショップに参加して頂いた上で、契約内容を尊重した市民提案図が完成したと考えております。今後も、市民提案図を基に各市民団体との調整に取り組んでいきます。

【質問】暫定利用とあるが、期間は毎年くらい？
 【回答】現時点では暫定期間は未定です。

【質問】トイレはぜひ設置してほしい。
 【回答】トイレは今後の課題の一つとして、実現に向けて積極的に取り組んでいきます。

【質問】広場整備は旧河床からのくわい盛土なのか。
 【回答】平均50cm程度です。

【質問】栄橋付近の広場（駐車可）について
 ①歩行者の安全性は確保できるのか。
 ②常時駐車の利用は開放するのか？
 【①の回答】安全面に十分配慮した計画とします。
 【②の回答】運営方法については今後の課題として取り組んでいきます。

■今後の課題

1. 栄橋付近広場（駐車可）へのスロープ形状の再検討
 幅広道をできるだけ広く確保できるスロープ形状を再検討
2. トイレ・遊具等の設置について
3. 広場全体の今後の管理運営の方法について

■ご協力ありがとうございました

今後とも「市民提案図」で掲げた計画の早期実現に向けて積極的に取り組んでいきますので、今後ともご理解・ご協力のほど宜しくお願い致します。

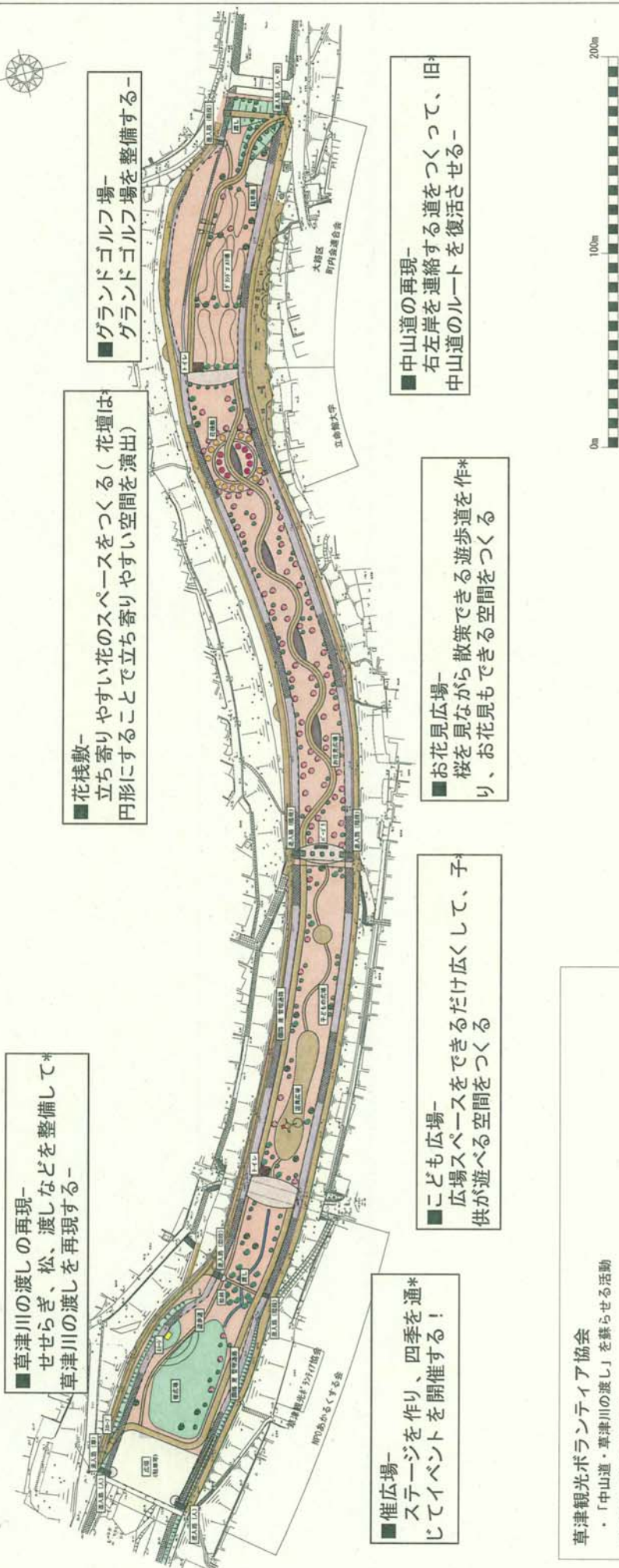
お忙しい中、本ワークショップに参加して頂きまして、本当に有難うございました。

⇒ 裏面に続く（「市民提案図」を掲載しています！）

旧草津川広場整備ワークショップ
市民提案図 (案)

テーマ: みんなのいこえる緑の広場

【基本コンセプト】 暫定利用のため、最小限の整備内容とする



■草津川の渡しの再現-
せせらぎ、松、渡しなどを整備して*
草津川の渡しを再現する-

■花棧敷-
立ち寄りやすい花のスペースをつくる(花壇は
円形にすることで立ち寄りやすい空間を演出)

■グラントゴルフ場-
グラントゴルフ場を整備する-

■催広場-
ステージを作り、四季を通*
じてイベントを開催する!

■子ども広場-
広場スペースをできるだけ広くして、子
供が遊べる空間をつくる

■お花見広場-
桜を見ながら散策できる遊歩道を作*
り、お花見もできる空間をつくる

■中山道の再現-
右左岸を連絡する道をつくって、旧
中山道のルートを復活させる-

- 草津観光ボランティア協会
・「中山道・草津川の渡し」を蘇らせる活動
- NPOあかるくする会
・子供の遊園地、畑作り(体験学習)、青空学校の場所として活用
- 立命館大学
・アサガオ、コスモス、菜の花などの植栽、地域の寄せ植え等、交流の場として活用
・生ゴミを堆肥化する活動
- 大路区町内会連合会
・「地域ふれあいの場」として活用
・ニュースポーツ、ベタンク、ゲートボール、グラントゴルフ等を行う場所として活用



草津川廃川敷地の土地活用に関する市民アンケート調査

集計結果（速報）

平成22年6月

草 津 市

目 次

1. 調査の概要	1
2. 集計方法の特記事項	1
3. 集計結果	2
3.1 回答者の属性(問 1～問 4)	2
3.2 あなたと草津川廃川敷地の関わり(問 5～問 11)	4
3.3 今後の草津川廃川敷地整備のあり方(問 12～問 16)	18

資料

資料 - 1 アンケート調査票

1. 調査の概要

調 査 名	『草津川廃川敷地の土地活用に関する市民アンケート調査』
調 査 の 背 景	平成 14 年に新草津川が通水開始されたことにより、廃川となった旧草津川（草津川廃川敷地（JR 東海道新幹線～メロン街道）約 5.7km、河川区域（メロン街道～琵琶湖岸）約 1.3km）において、その土地活用の方向性を定めるべく、「草津川廃川敷地土地活用基本構想」の策定作業の準備を進めている。
調 査 の 目 的	草津市の大規模公共空間である草津川廃川敷地のあり方について、市民の意見を把握し、本市の基本構想策定の参考にする目的で実施した。
調 査 対 象 者	平成 22 年 5 月 15 日現在で、本市に居住している 20 歳以上の市民
対 象 者 の 選 定 方 法	「住民基本台帳」および「外国人登録原票」から、年齢、居住地域、男女別人口按分による無作為抽出により選定した。
調 査 期 間	平成 22 年 5 月 29 日～平成 22 年 6 月 8 日
調 査 の 方 法	調査は無記名とし、アンケート用紙の郵送により行った。
配 布 票 数	3,000 票
回 収 票 数	1,019 票（平成 22 年 6 月 11 日までの回収票）
回 収 率	34.0%

2. 集計方法の特記事項

単一選択回答の設問に対して複数回答（複数の選択肢に ）があった場合、無効回答として集計した。

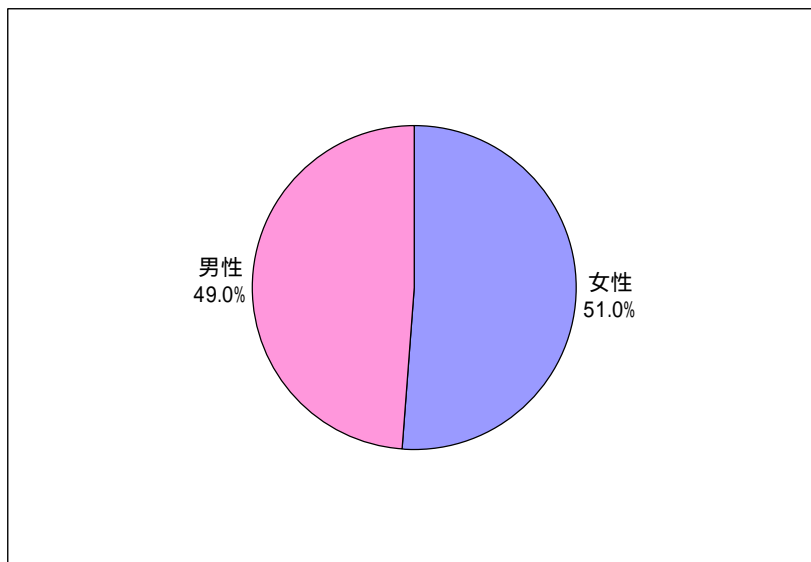
3. 集計結果

3.1 回答者の属性(問1～問4)

設問

問1 . あなたの性別はどちらですか。

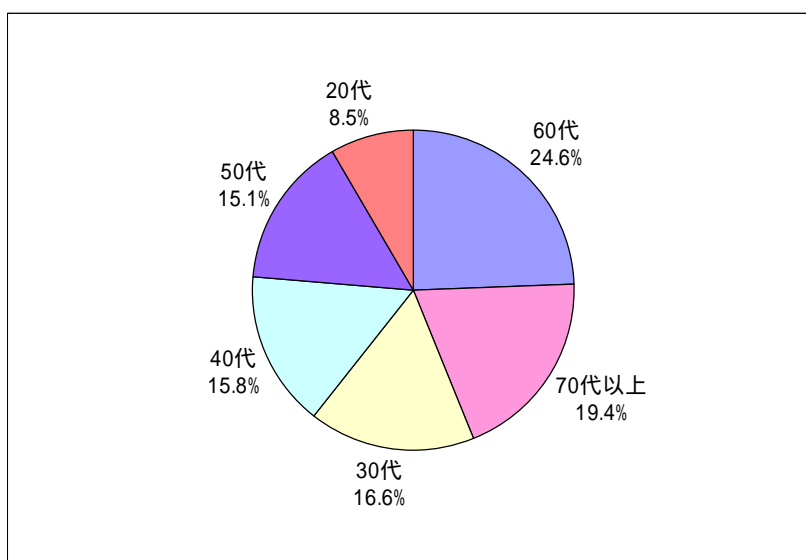
・「男性」が49.0%で、「女性」が51.0%であり、男女の偏りなく回答を得ている。



設問

問2 . あなたの年齢（年代）をお答えください。あてはまるもの1つにをつけてください。

・「60代」が24.6%で最も多く、次いで「70代以上」(19.4%)、「30代」(16.6%)の順となっている。
・「60代」, 「70代以上」で44.0%と回答者の約半数を占めている。

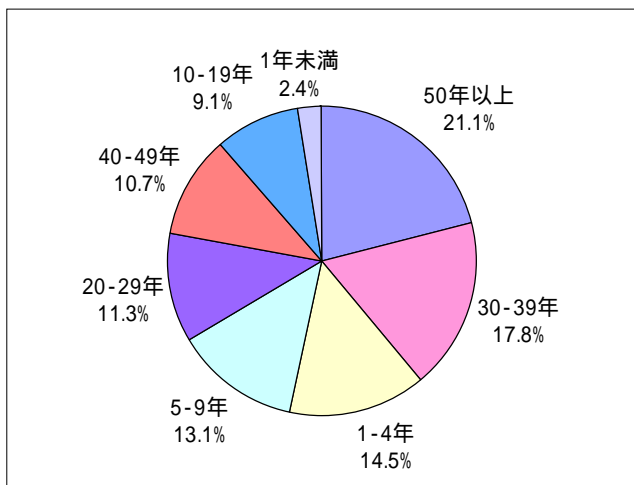


設問

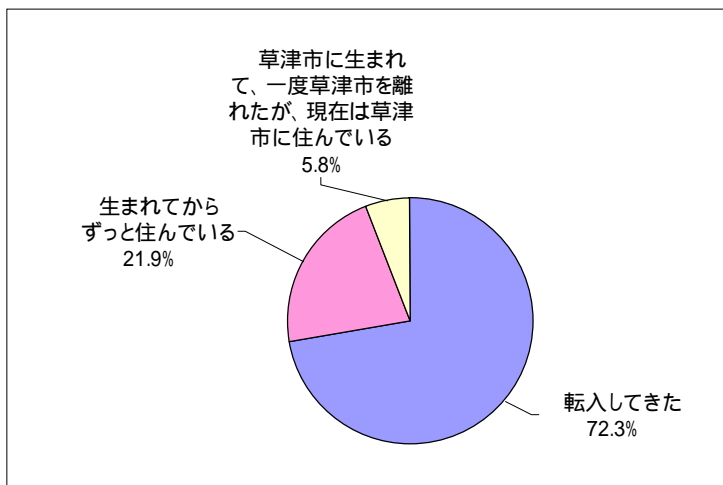
問3 . あなたは、どれくらいの期間、草津市に住んでおられますか。およその居住年数を数字で記入してください。また、転入・転出について、あてはまるもの1つにをつけてください。

- ・居住年数は「50年以上」が21.1%で最も多く、次いで「30-39年」(17.8%)、「1-4年」(14.5%)の順となっている。
- ・転入・転出については、「転入してきた」が72.3%で最も多く、次いで「生まれてからずっと住んでいる」(21.9%)の順となっている。

《居住年数》



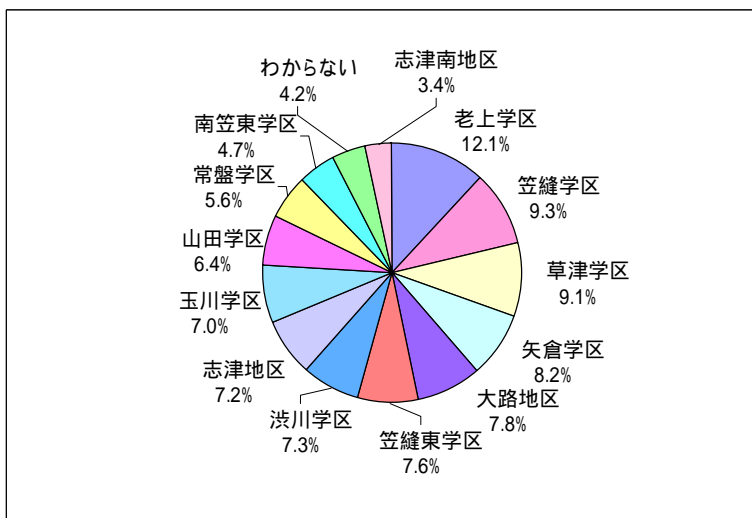
《転入・転出》



設問

問4 . あなたのお住まいはどちらですか。あてはまるもの1つにをつけてください。

- ・「老上学区」が12.1%で最も多く、次いで「笠縫学区」(9.3%)、「草津学区」(9.1%)の順となっている。



3.2 あなたと草津川廃川敷地の関わり(問5～問11)

設問

問5 . 旧草津川は、社会科の教科書に掲載されるなど、全国的に有名な「天井川」であることをあなたは知っていましたか。あてはまるもの1つにをつけてください。

(1)全体

- ・「よく知っていた」が39.0%で最も多く、次いで「知っていた」(38.2%)の順となっており、「よく知っていた」、「知っていた」で全体の77.2%を占めている。

(2)男女別

- ・男性については、「よく知っていた」、「知っていた」の合計が全体の82.6%を占めており、女性については、「よく知っていた」、「知っていた」の合計が全体の71.9%を占めている。

(3)年代別

- ・50代、60代、70代以上については、「よく知っていた」、「知っていた」の合計が全体の80%以上を占めており、旧草津川が天井川であったことを知っている人が大多数である。
- ・20代については、「ほとんど知らなかった」、「全く知らなかった」の合計が全体の60%以上を占めており、旧草津川が天井川であったことを知らない人が多い。

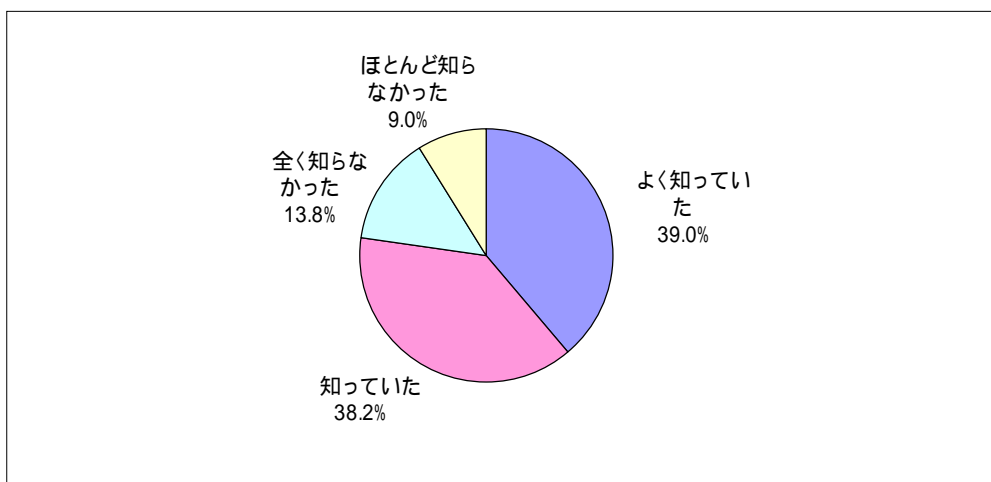
(4)居住年数別

- ・居住年数が30年以上については、「よく知っていた」、「知っていた」の合計が全体の90%以上を占めており、旧草津川が天井川であったことを知っている人が大多数である。
- ・居住年数が4年以下については、「ほとんど知らなかった」、「全く知らなかった」の合計が全体の60%以上を占めており、旧草津川が天井川であったことを知らない人が多い。

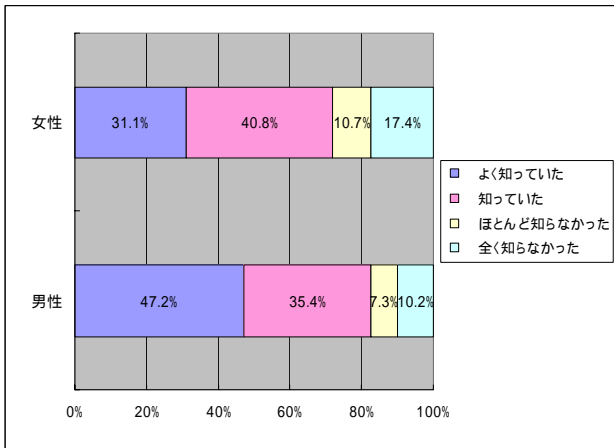
(5)居住地別

- ・旧草津川沿いの笠縫学区については、「よく知っていた」が62.8%、山田学区で61.5%を占めており、旧草津川沿いに住んでいる人は、旧草津川が天井川であったことを知っている人が多い。
- ・旧草津川から離れている志津南地区、南笠東学区、玉川学区については、「よく知っていた」が30%未満であり、居住地が旧草津川から離れている人は、旧草津川が天井川であったことを知らない人が多い傾向にある。

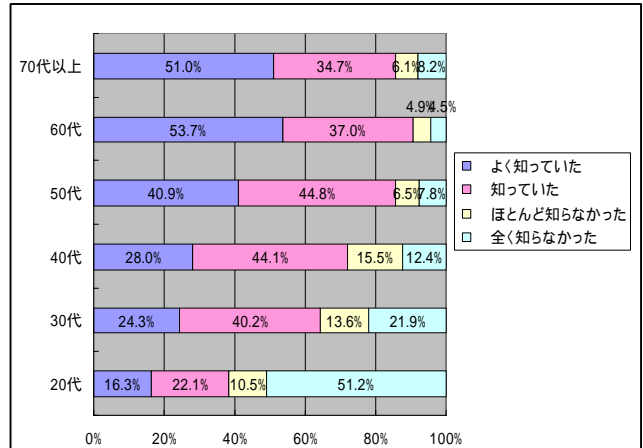
《全体》



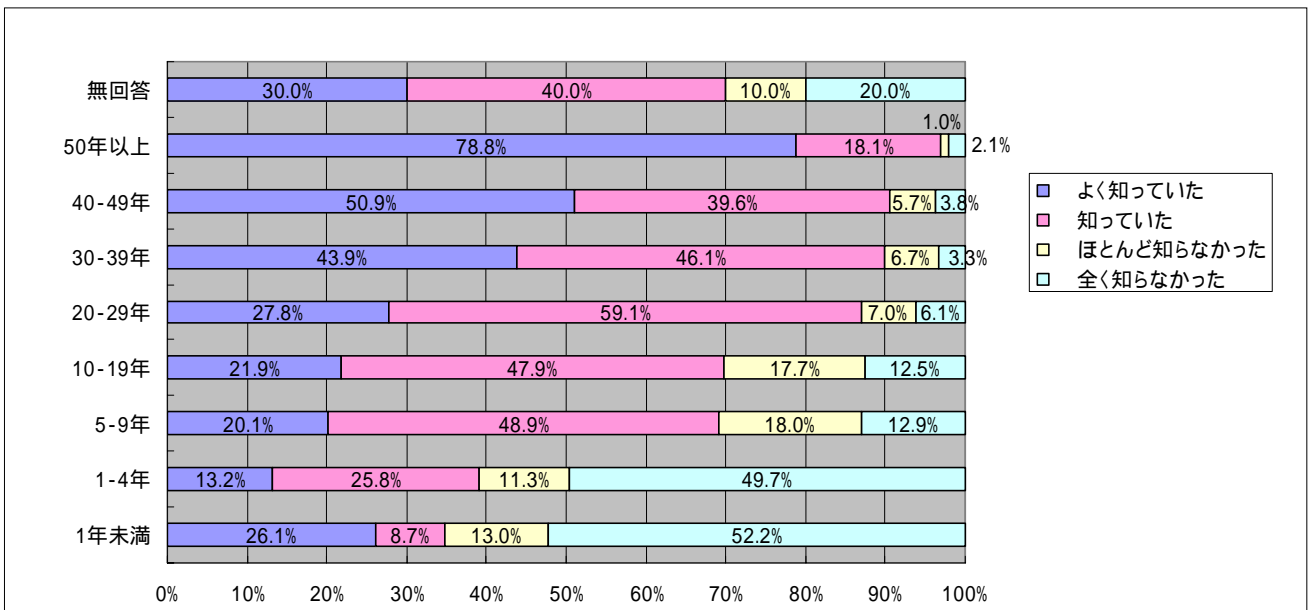
《男女別》



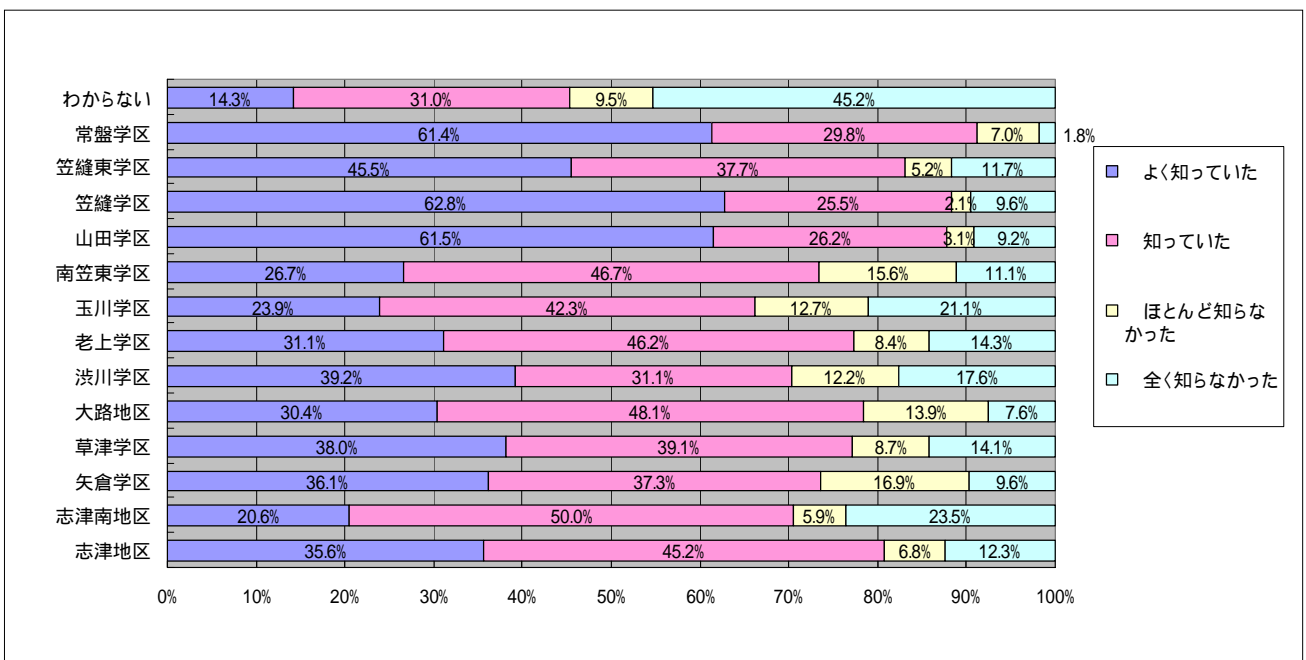
《年代別》



《居住年数別》



《居住地別》



設問

問6 . 旧草津川が廃川になる前に、あなたは川や川辺で遊んだり、散歩したり、くつろいだりするために利用されたことがありましたか。あてはまるもの1つにをつけてください。
(ただし、通過のみの利用は除きます。)

(1)全体

- ・「全く利用しなかった」が44.2%で最も多く、次いで「時々利用した」(25.8%)の順となっている。

(2)男女別

- ・男性については、「全く利用しなかった」が41.3%で、女性については、「全く利用しなかった」が47.0%であり、男女ともに約半数の人が廃川前の旧草津川を利用していない。

(3)年代別

- ・70代以上については、「よく利用した」、「時々利用した」の合計が全体の52.3%を占め、60代については、「よく利用した」、「時々利用した」の合計が全体の43.3%を占めている。
- ・20代については、「全く利用しなかった」が69.4%であり、廃川前の旧草津川を利用していない人が多い。

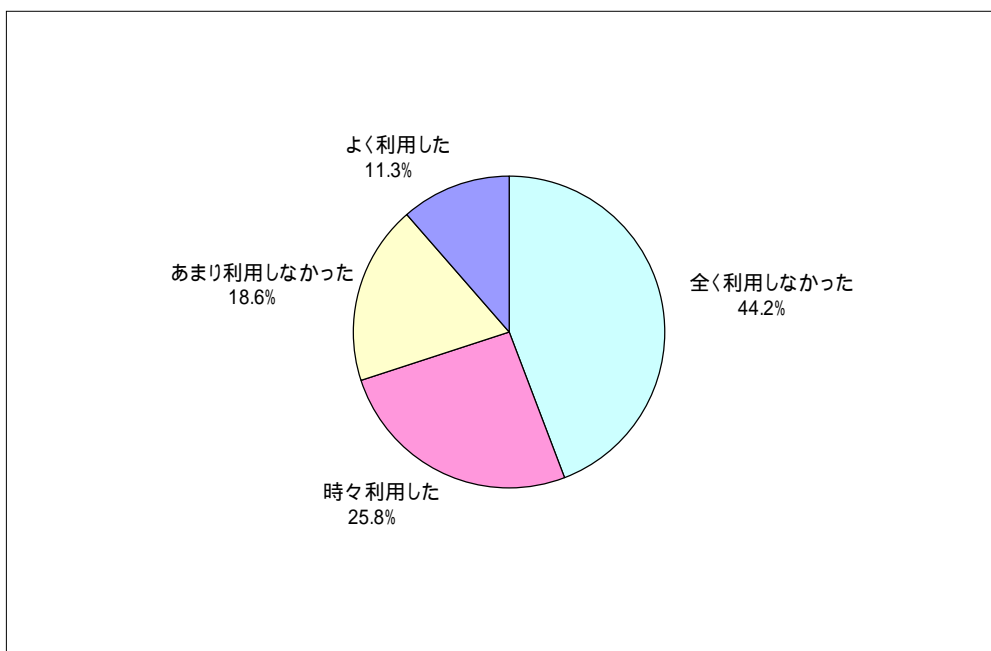
(4)居住年数別

- ・居住年数が40年以上については、「よく利用した」、「時々利用した」の合計が全体の50%以上を占めている。
- ・居住年数が9年以下については、「全く利用しなかった」が70%以上を占めており、廃川前の旧草津川を利用していない人が多い。

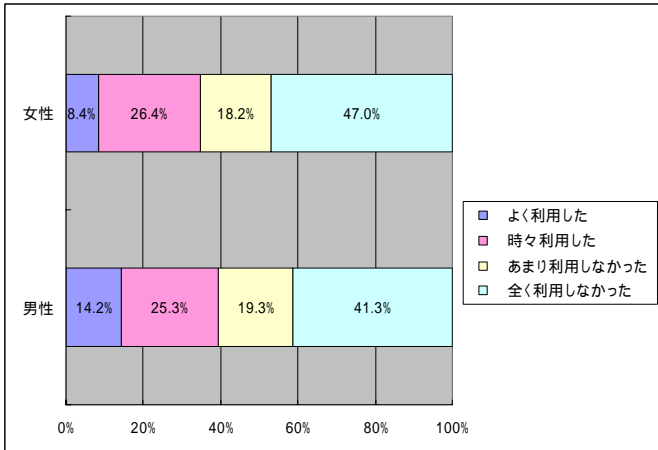
(5)居住地別

- ・旧草津川沿いの笠縫学区については、「よく利用した」、「時々利用した」の合計が全体の56.6%、山田学区については、「よく利用した」、「時々利用した」の合計が全体の65.1%を占めており、旧草津川沿いに住んでいる人は、廃川前の旧草津川を利用していた人が多い。

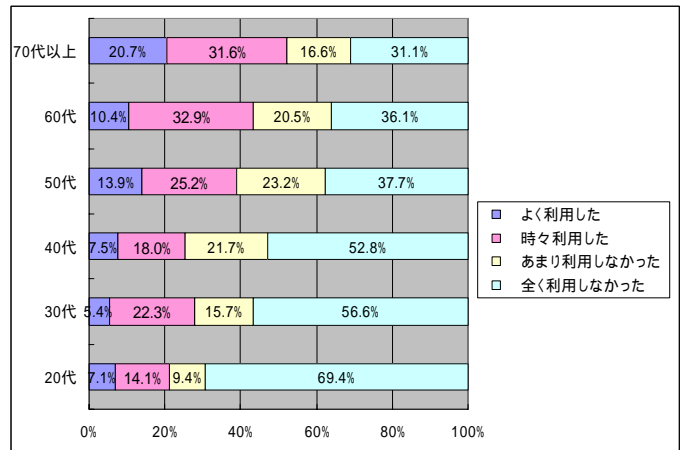
《全体》



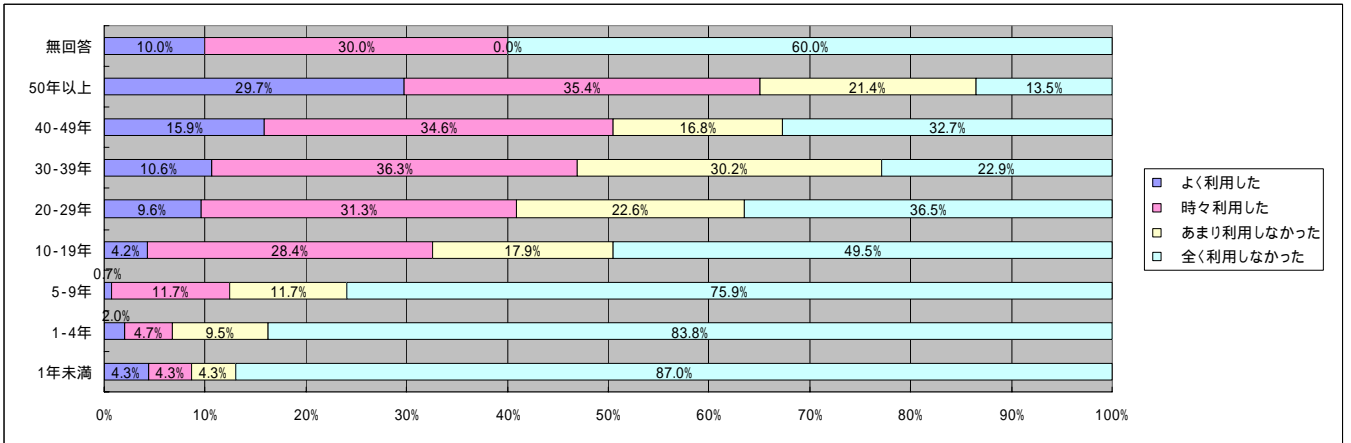
《男女別》



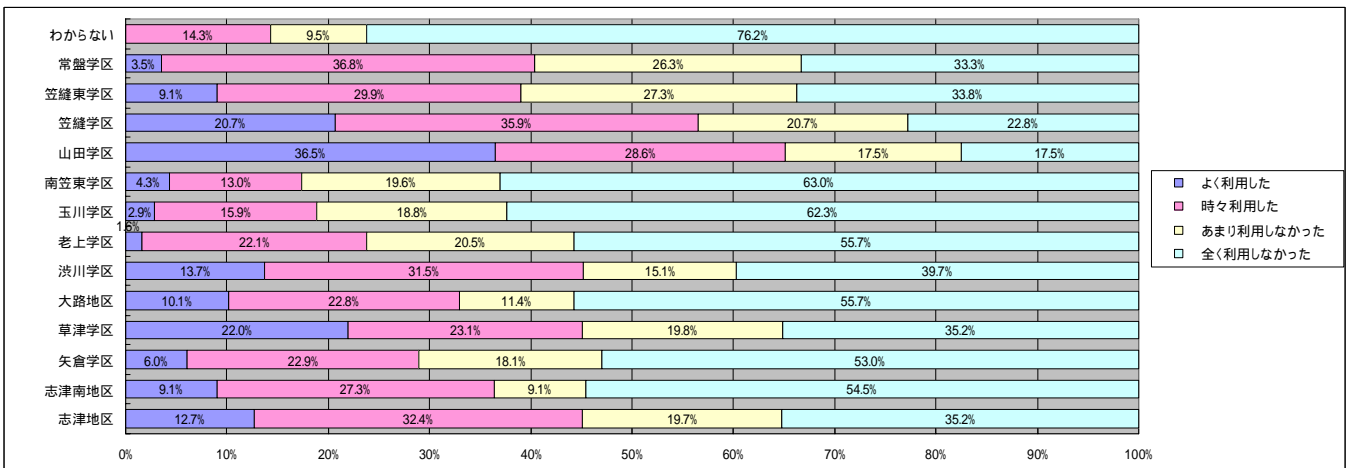
《年代別》



《居住年数別》



《居住地別》



設問

問7. 問6で、「よく利用した」、「時々利用した」を選ばれた方におたずねします。
旧草津川をどのような目的で利用されておりましたか。あてはまるものすべてにをつけて
ください。

(1)全体

・「花見」が 28.6%で最も多く、次いで「散歩」(21.8%)、「サイクリング」(10.4%)、「水遊び」(10.4%)の
順となっている。

(2)男女別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「花見」が最も多く、その他に「散歩」、「サイクリング」、「水遊び」の
回答が多くなっている。

(3)年代別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「花見」、「散歩」、「サイクリング」、「水遊び」の回答が多くなっている。
・20代については、「水遊び」が 22.0%で最も多くなっている。

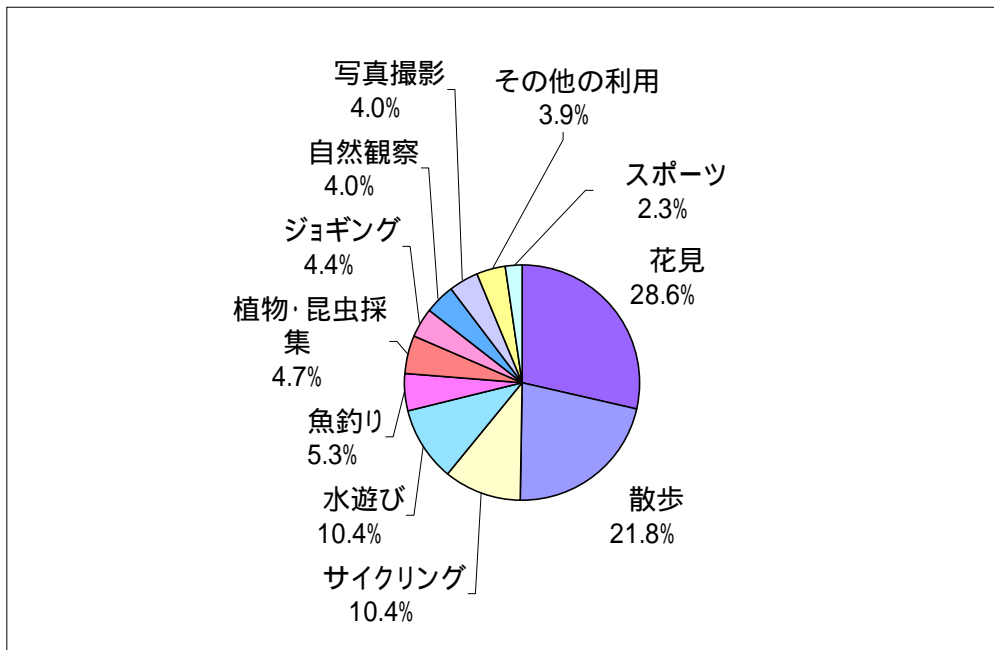
(4)居住年数別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「花見」、「散歩」、「サイクリング」、「水遊び」の回答が多くなっている。

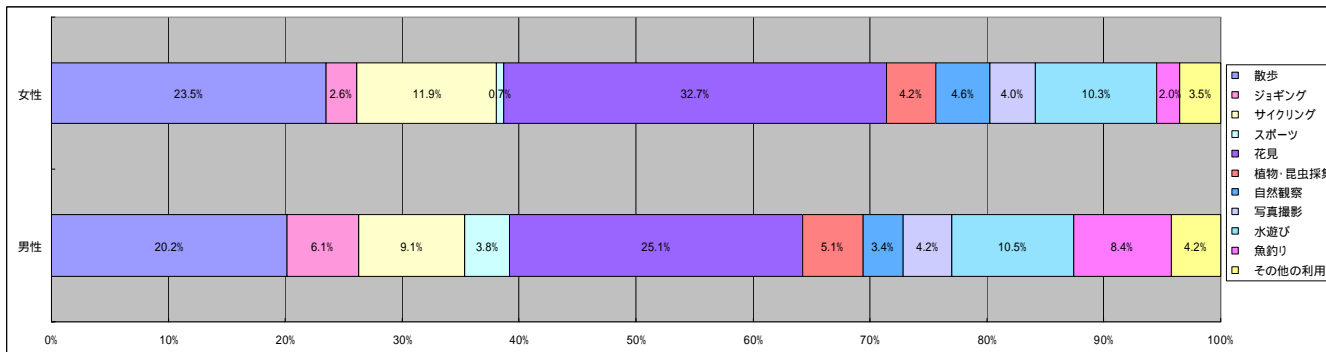
(5)居住地別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「花見」、「散歩」、「サイクリング」の回答が多くなっている。

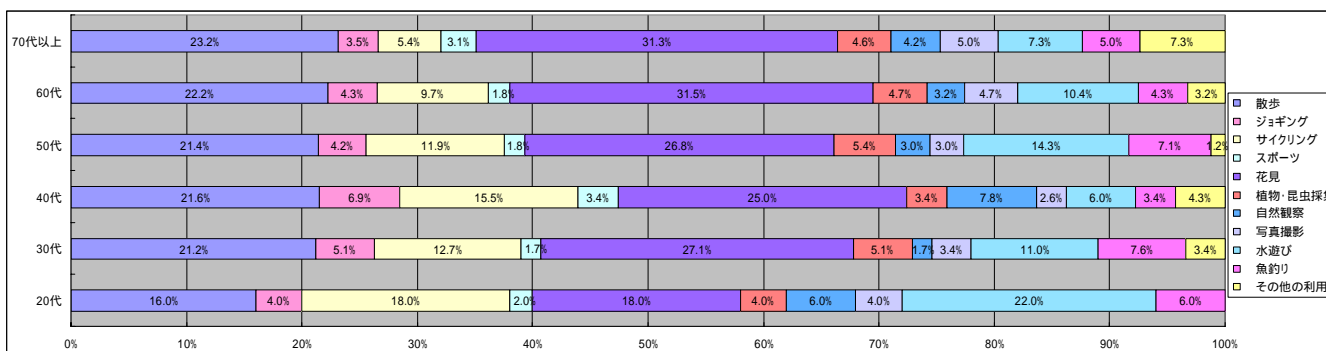
《全体》



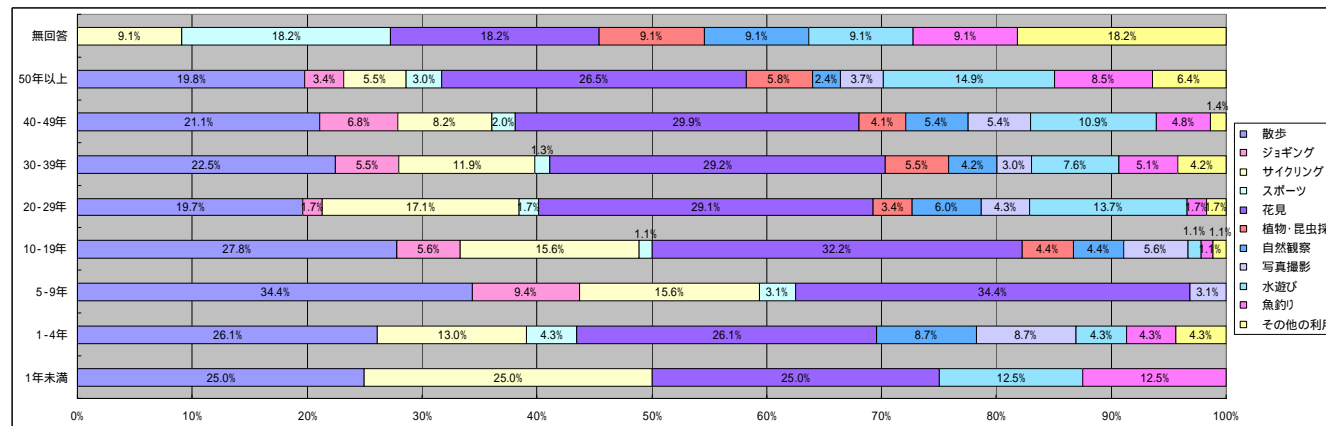
《男女別》



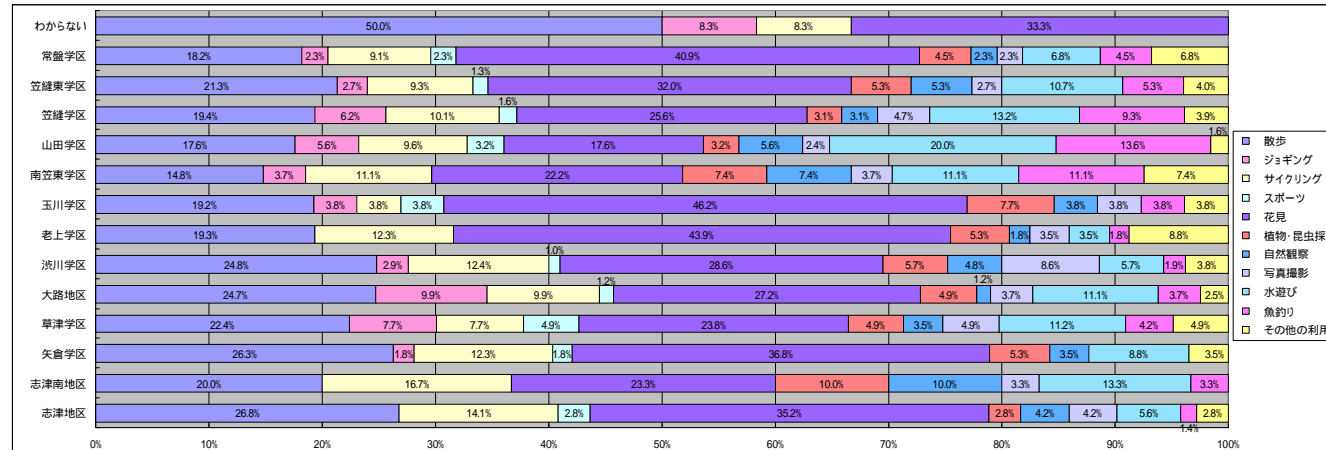
《年代別》



《居住年数別》



《居住地別》



設問

問 8 . 現在、あなたは草津川廃川敷地を利用されることはありますか。あてはまるもの1つにをつけてください。(ただし、通過のみの利用は除きます。)

(1)全体

- ・「全く利用していない」が60.0%で最も多く、次いで「1年に1回程度利用している」(12.0%)、「半年に1~2回程度利用している」(10.5%)の順となっている。

(2)男女別

- ・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「全く利用していない」が最も多く、その他に「1年に1回程度利用している」、「半年に1~2回程度利用している」の回答が多くなっている。

(3)年代別

- ・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「全く利用していない」が最も多く、その他に「1年に1回程度利用している」、「半年に1~2回程度利用している」の回答が多くなっている。
- ・20代については、「全く利用していない」が72.1%であり、年代別で最も多い。

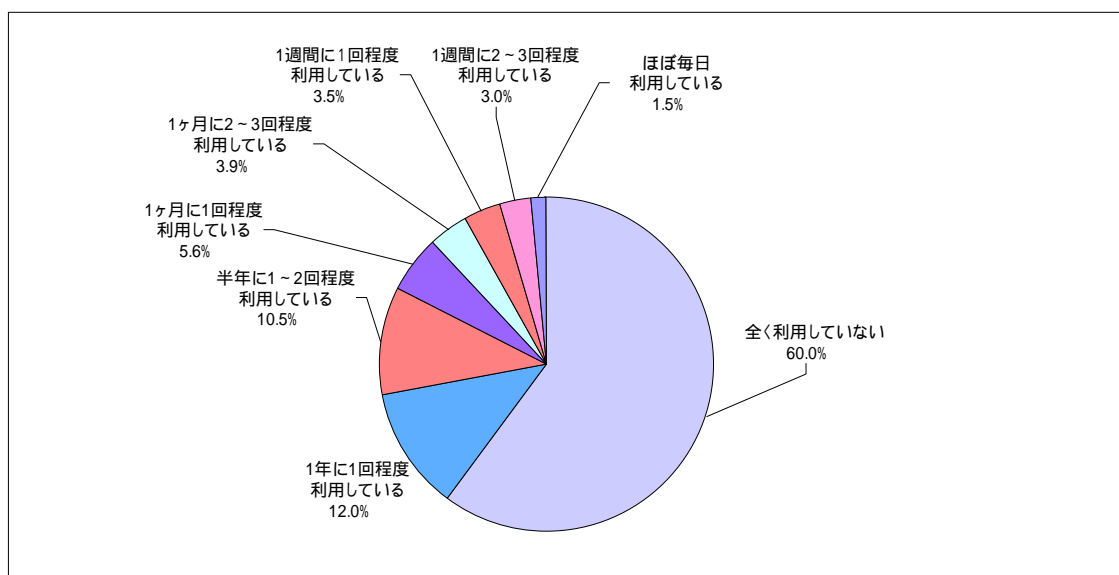
(4)居住年数別

- ・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「全く利用していない」が最も多く、その他に「1年に1回程度利用している」、「半年に1~2回程度利用している」の回答が多くなっている。
- ・居住年数が1年未満については、「全く利用していない」が87.0%を占めており、年代別で最も多い。

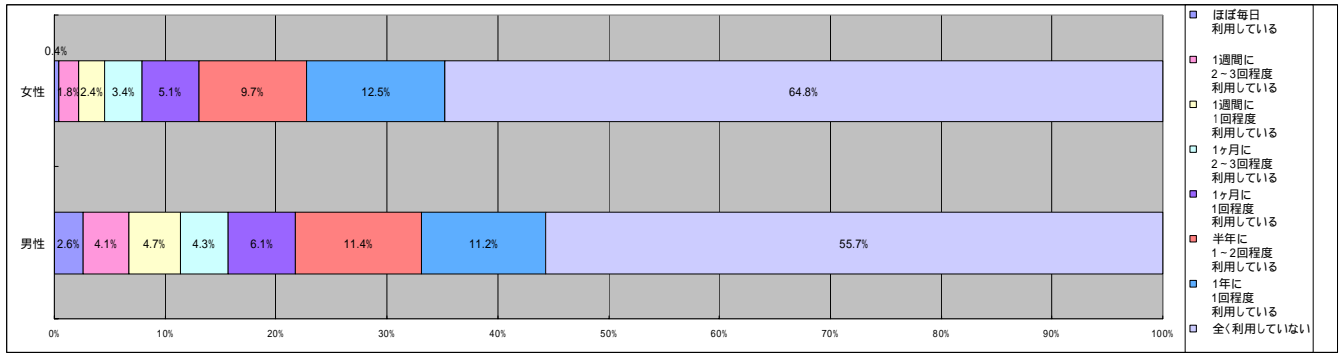
(5)居住地別

- ・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「全く利用していない」が最も多く、その他に「1年に1回程度利用している」、「半年に1~2回程度利用している」の回答が多くなっている。
- ・旧草津川から離れている常盤学区、南笠東学区、老上学区、志津南地区については、「全く利用していない」が全体の70%以上を占めており、居住地が旧草津川から離れている人は、旧草津川を全く利用していない人が大多数を占めている。

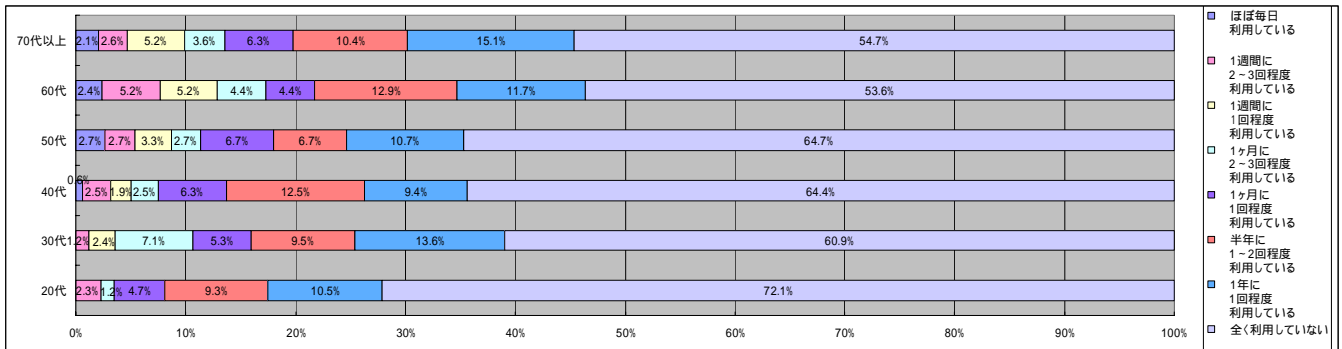
《全体》



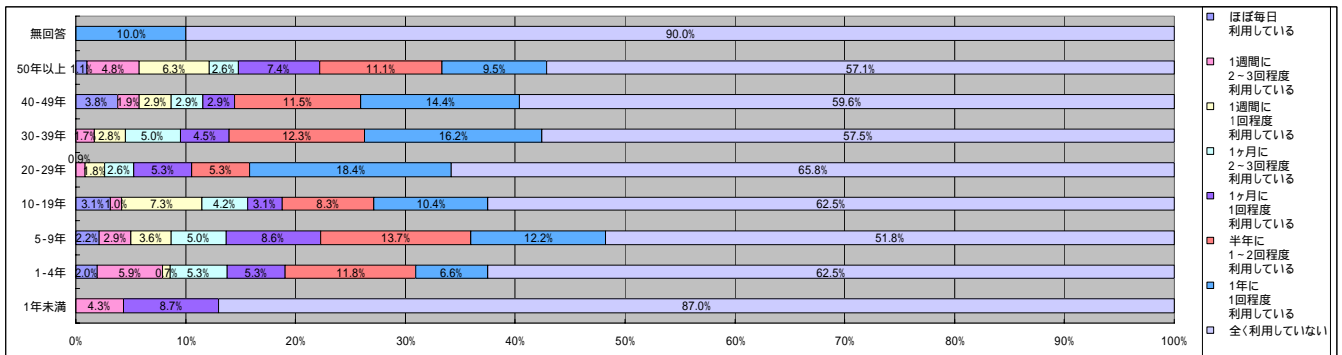
《男女別》



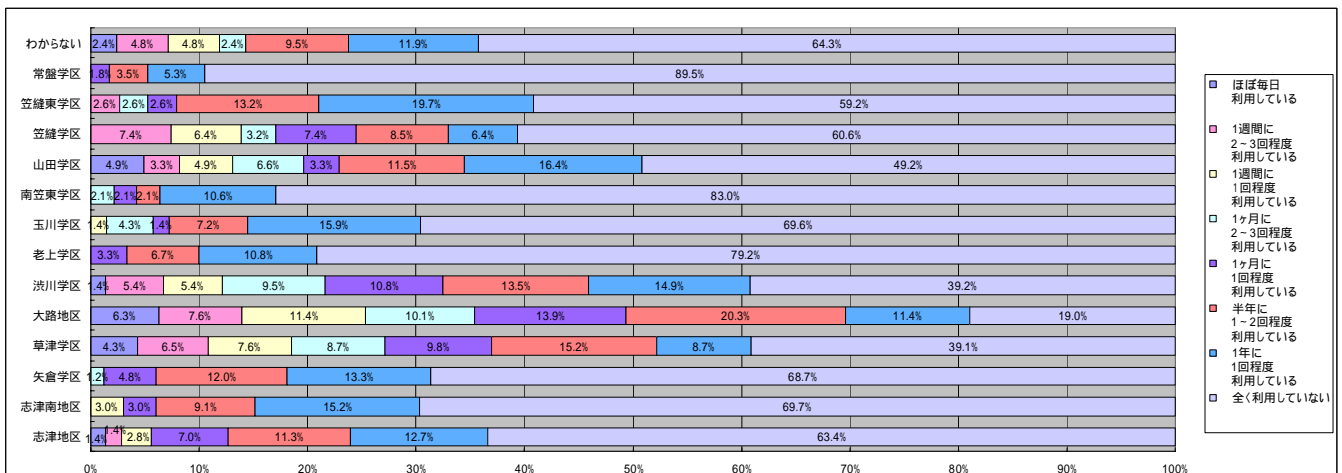
《年代別》



《居住年数別》



《居住地別》



設問

問9 . 問8で、 ~ を選ばれた方におたずねします。

草津川廃川敷地をどのような目的で利用されますか。あてはまるものすべてにをつけてください。

(1)全体

・「花見」が39.1%で最も多く、次いで「散歩」(31.1%)、「サイクリング」(11.1%)の順となっている。

(2)男女別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「花見」が最も多く、その他に「散歩」、「サイクリング」の回答が多くなっている。

(3)年代別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「花見」が最も多く、その他に「散歩」、「サイクリング」の回答が多くなっている。

・40代、50代については、「散歩」が最も多くなっている。

・20代については、「ジョギング」が17.9%であり、他の年代と比較して多くなっている。

(4)居住年数別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「花見」、「散歩」、「サイクリング」の回答が多くなっている。

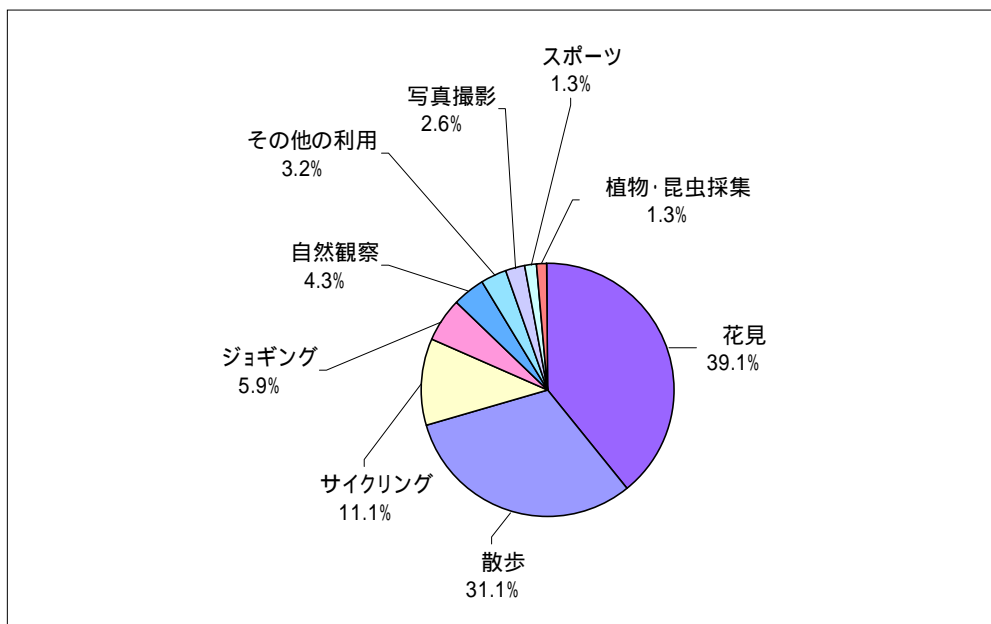
・居住年数が4年以下については、「散歩」が最も多くなっている。

・居住年数が1年未満については、「サイクリング」が28.6%であり、他の居住年数と比較して多くなっている。

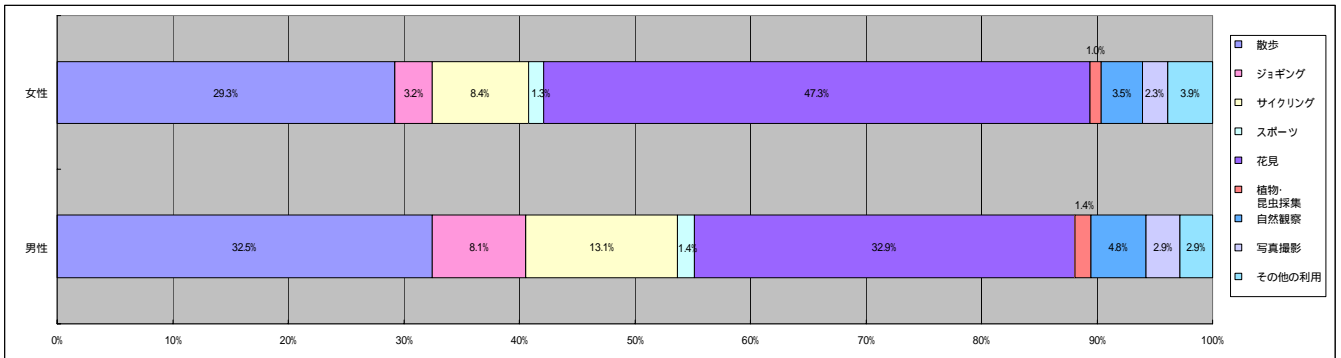
(5)居住地別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「花見」が最も多く、その他に「散歩」、「サイクリング」の回答が多くなっている。

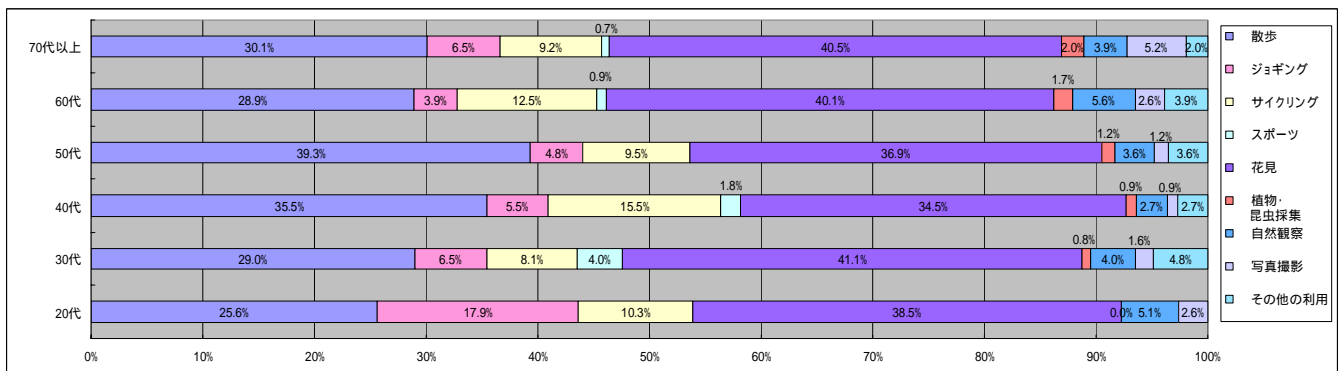
《全体》



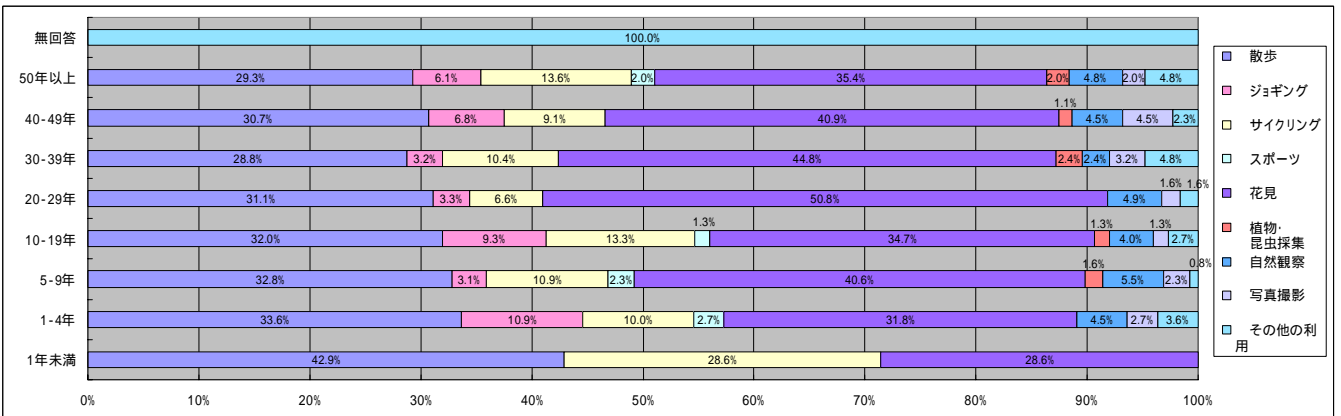
《男女別》



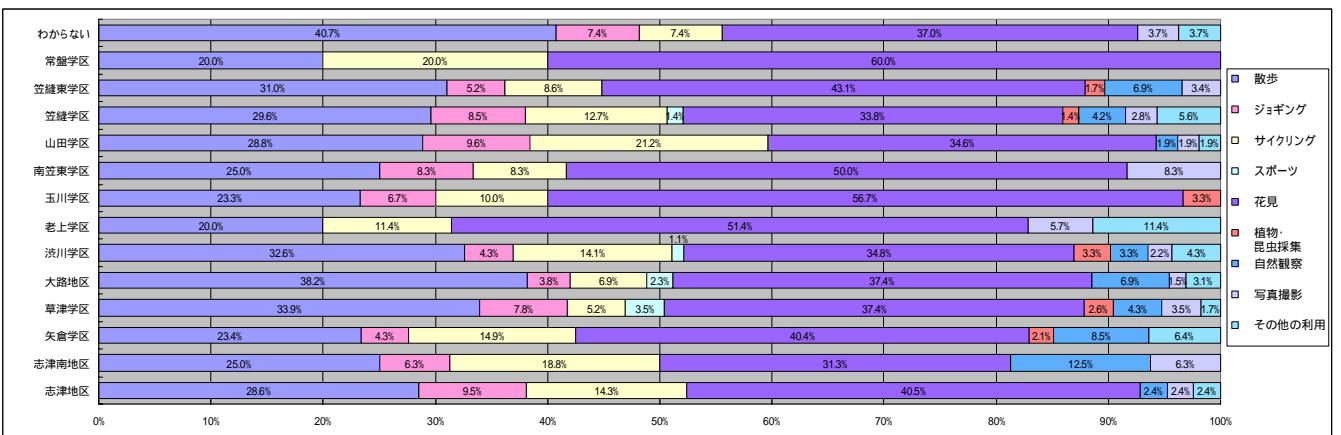
《年代別》



《居住年数別》



《居住地別》



設問

問10. あなたは、旧草津川に堤防があることについて、どのように感じておられますか。
あてはまるもの1つに をつけてください。

(1)全体

- ・「どちらでもない」が50.1%で最も多く、次いで「良いと感じる」(34.1%)の順となっている。

(2)男女別

- ・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「どちらでもない」が最も多く、次いで「良いと感じる」となっている。

(3)年代別

- ・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「どちらでもない」が最も多く、次いで「良いと感じる」となっている。
- ・年代が高くなるにつれて、「良いと感じる」が多くなり、「どちらでもない」が少なくなる傾向にある。

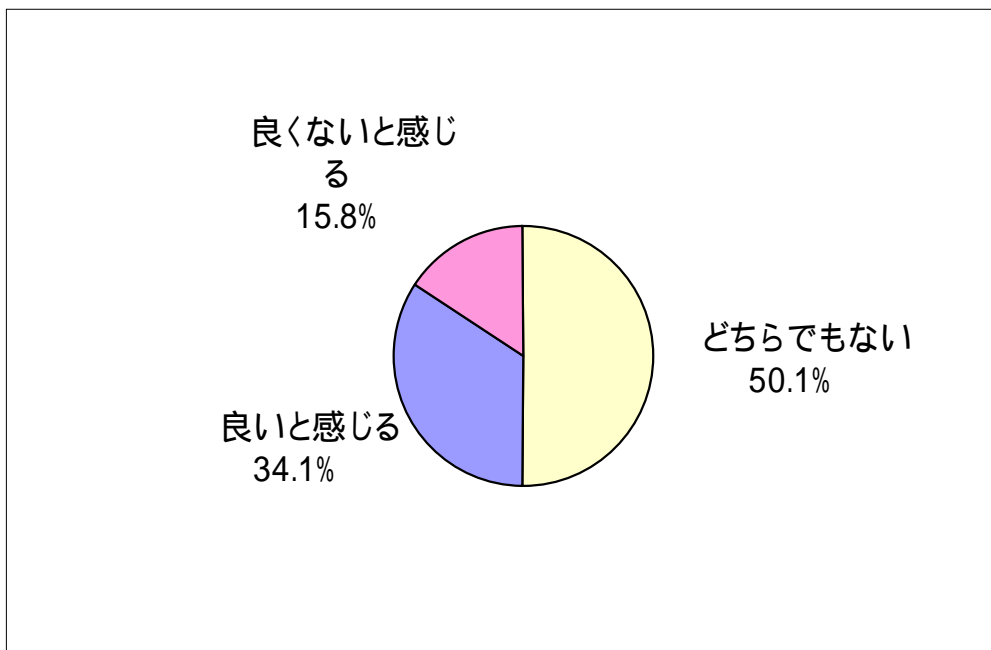
(4)居住年数別

- ・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「どちらでもない」、「良いと感じる」の回答が多くなっている。
- ・居住年数が40-49年については、「良いと感じる」が最も多くなっている。
- ・居住年数が40年以上については、「良くないと感じる」が20%以上であり、他の居住年数と比較して多くなっている。

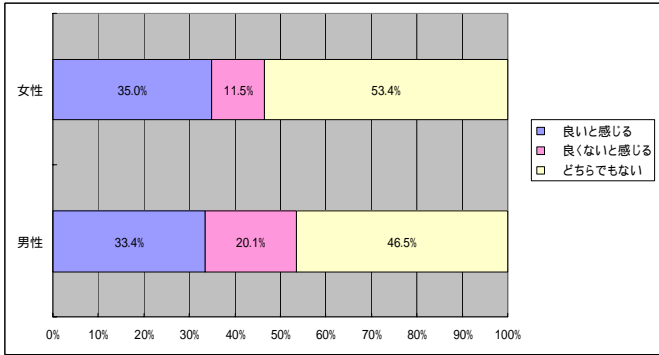
(5)居住地別

- ・旧草津川沿いの山田学区については、「良くないと感じる」が29.8%であり、「良いと感じる」(26.3%)を上回っている。
- ・旧草津川沿いの大路地区については、「良いと感じる」が60.3%であり、他の居住地と比較して旧草津川の堤防を良いと感じている人が多くなっている。

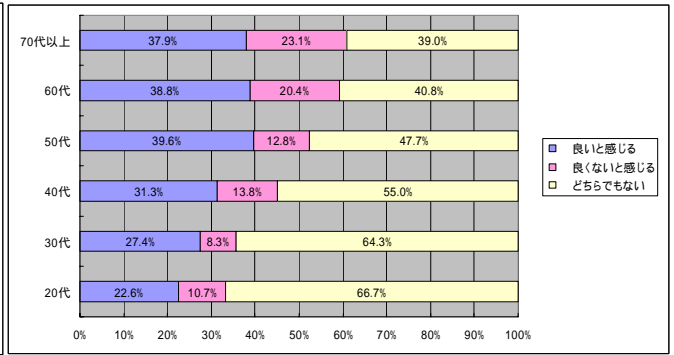
《全体》



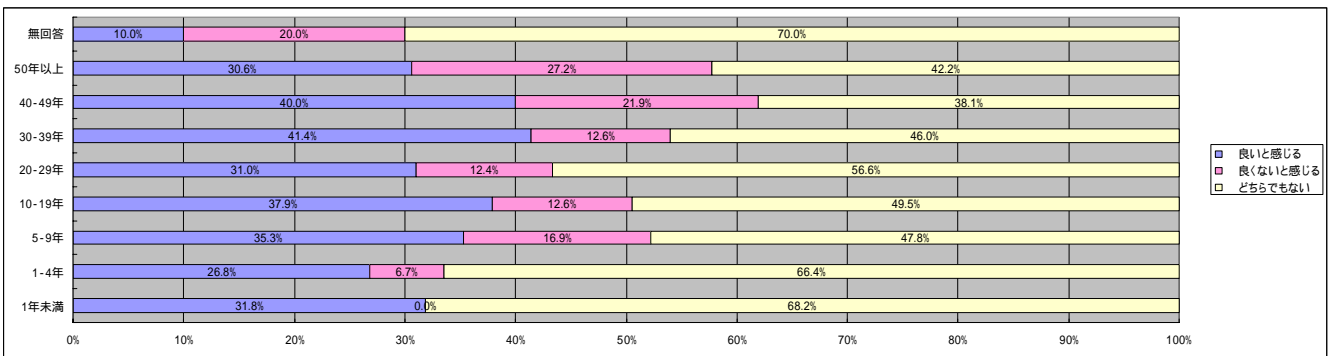
《男女別》



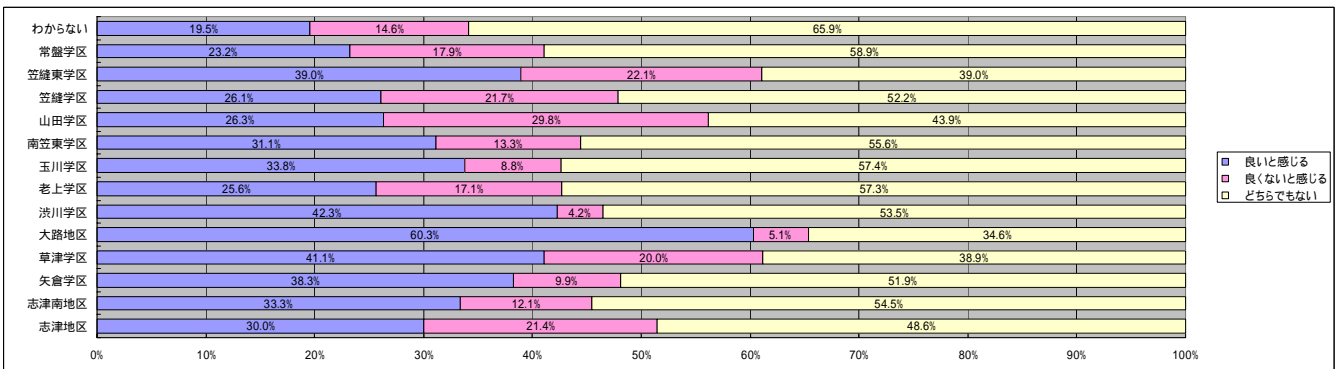
《年代別》



《居住年数別》



《居住地別》



設問

問 1 1 . 問 1 0 で、なぜ、そのように感じたのか、具体的に理由をお書きください。

(1) 良いと感じる理由

・「自然とのふれあいの場としての利用」に関する記述が 23.9%で最も多く、次いで「文化交流の場としての利用」に関する記述(18.2%)、「歴史保全の場としての利用」に関する記述(15.3%)の順となっている。

(2) 良くないと感じる理由

・「防災・治安・安全など」が 20.9%で最も多く、次いで「利便性が悪い」(19.1%)、「公共施設など」(15.3%)の順となっている。

(3) どちらでもないと感じる理由

・「二面性があるから」という記述が 57.6%で最も多く、「生活に関連がないから」という記述(14.4%)、「よく知らないから」という記述(10.5%)という意見に大別される。

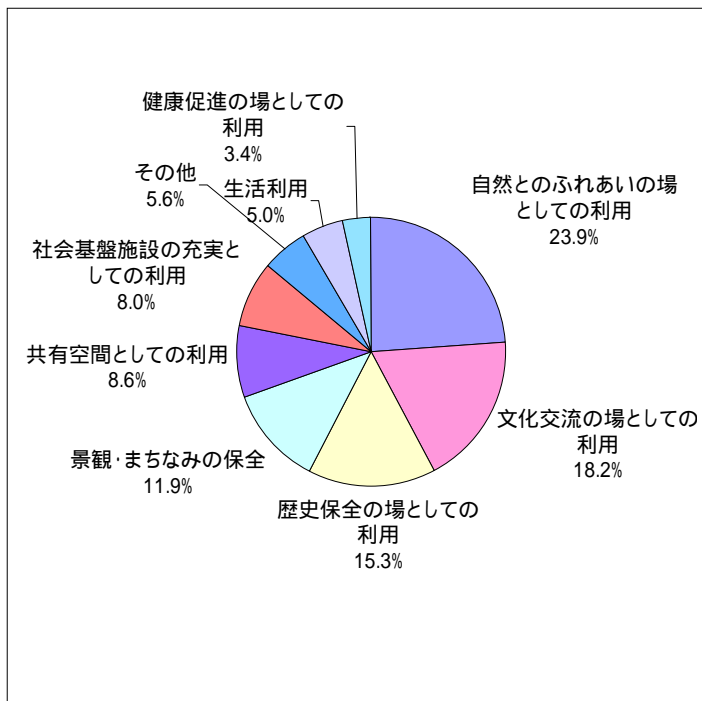
(4) 二面性のうち、よい面として挙げられているものについて

・「自然とのふれあいの場としての利用」と「文化交流の場としての利用」という記述が 25.6%で最も多い。

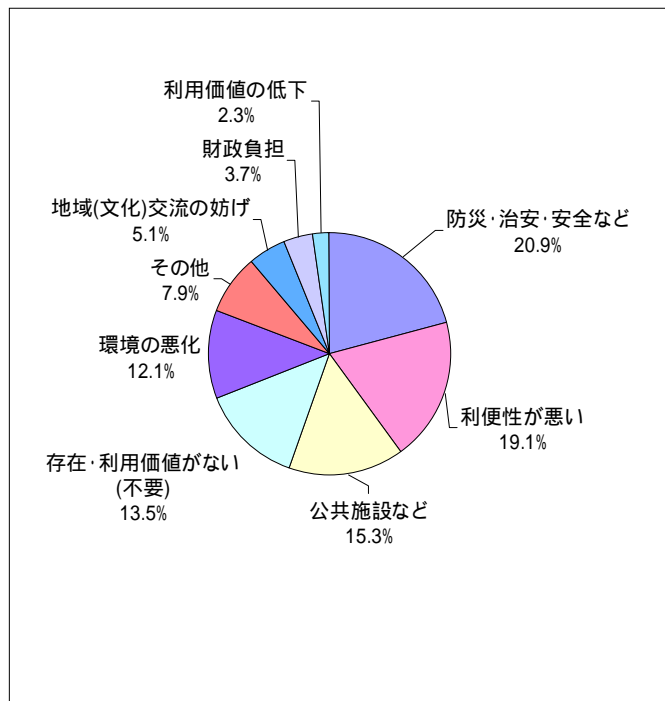
(5) 二面性のうち、わるい面として挙げられているものについて

・「利便性が悪い」という記述が 32.0%で最も多く、「存在・利用価値がない」という記述(約 22.3%)、「生活の支障(防災・治安・安全)」という記述(21.4%)に大別される。

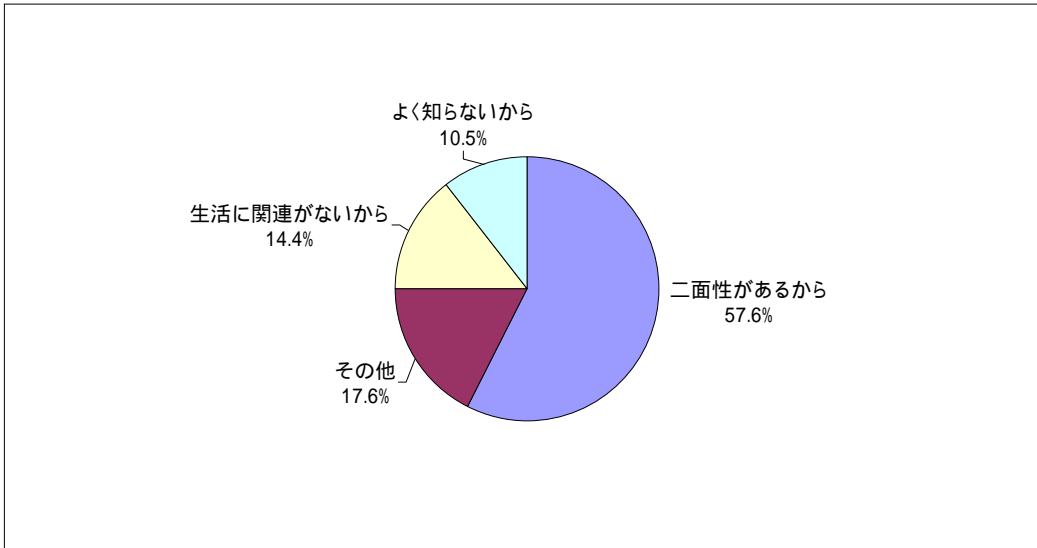
《良いと感じる理由》



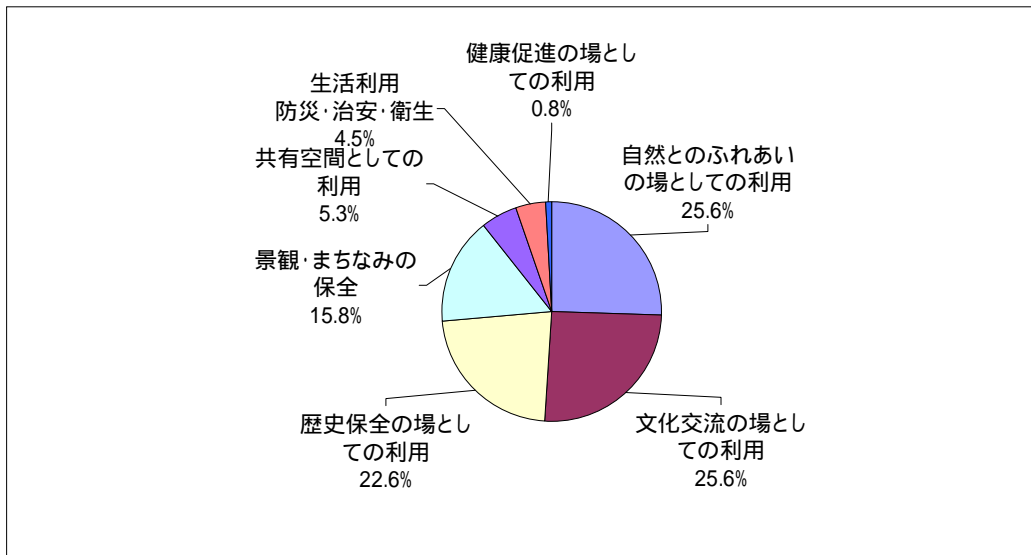
《良くないと感じる理由》



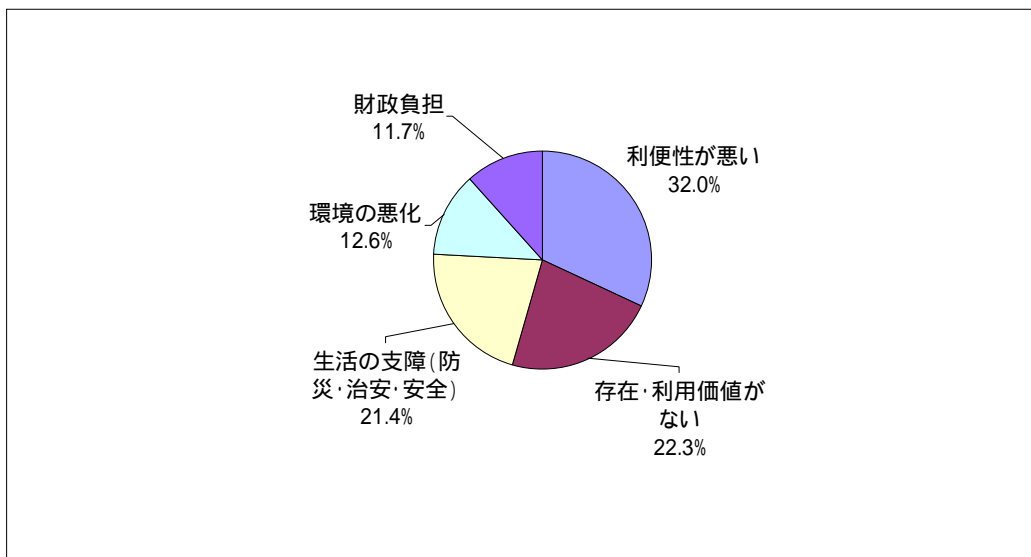
《どちらでもないと感じる理由》



《二面性のうち、よい面》



《二面性のうち、わるい面》



3.3 今後の草津川廃川敷地整備のあり方(問 12～問 16)

設問

問 1 2 .旧草津川は、平成 1 4 年に廃川となりましたが、抜本的な整備が行われずに現在に至っています。
あなたは、草津川廃川敷地を整備する必要があると思いますか。あてはまるもの1つにをつけて
ください。

(1)全体

・「そう思う」が 58.1%で最も多く、次いで「ややそう思う」(27.1%)の順となっている。

(2)男女別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「そう思う」が最も多く、次いで「ややそう思う」となっている。

(3)年代別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「そう思う」が最も多く、次いで「ややそう思う」となっている。
・年代が高くなるにつれて、「そう思う」が多くなる傾向にある。

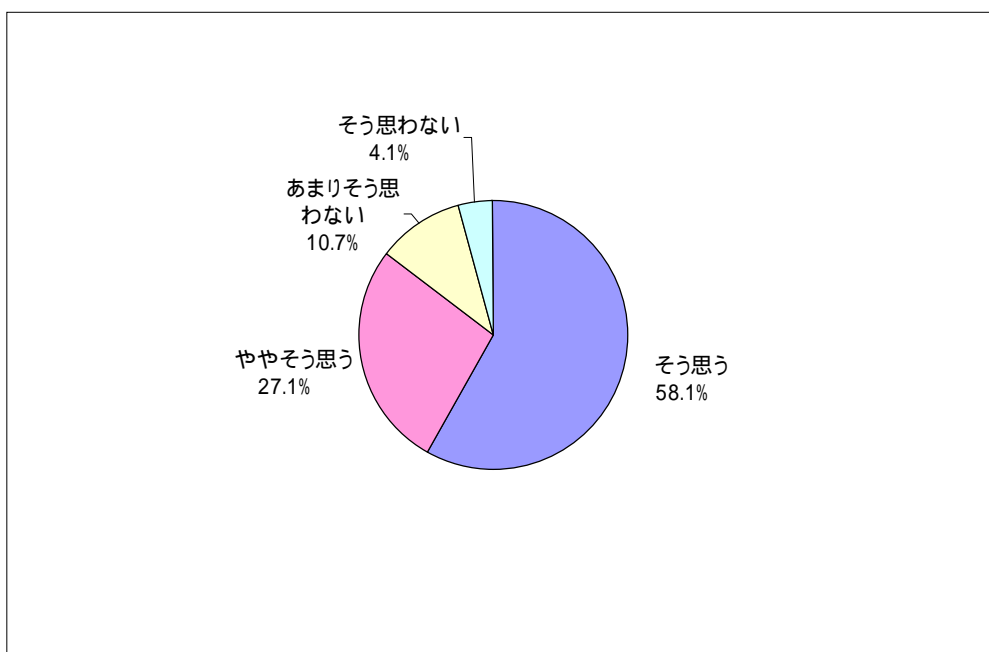
(4)居住年数別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「そう思う」が最も多く、次いで「ややそう思う」となっている。

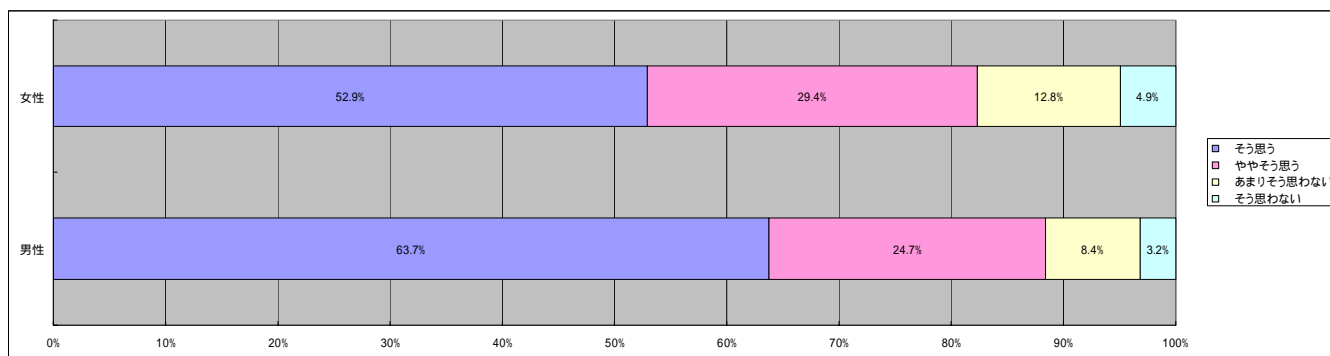
(5)居住地別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「そう思う」、「ややそう思う」が多くなっている。
・旧草津川沿いの笠縫学区、山田学区、渋川学区、大路地区、草津学区については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計が 90%程度であり、旧草津川に近いほど草津川廃川敷地を整備する必要があると思っている人が多い傾向にある。
・旧草津川から離れている南笠東学区、玉川学区、老上学区、志津南地区については、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が 20%程度であり、旧草津川から離れるほど旧草津川廃川敷地を整備する必要がないと思っている人が多い傾向にある。

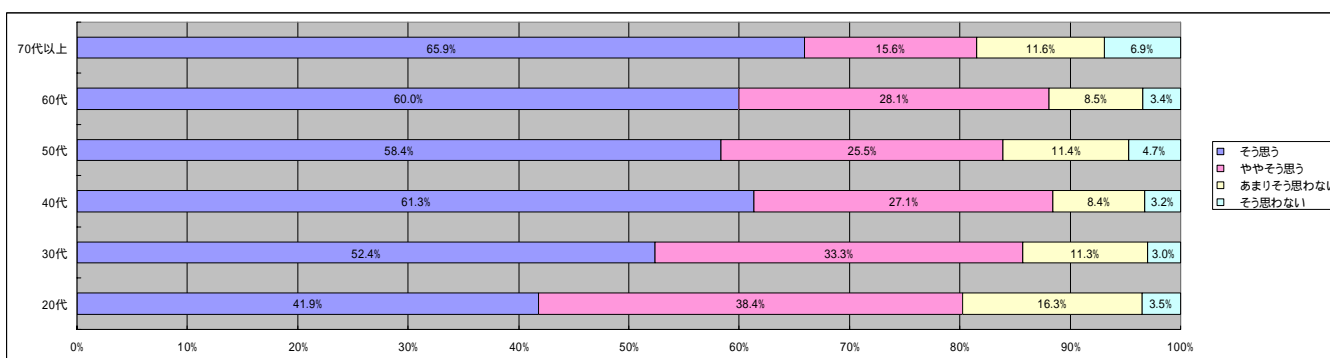
《全体》



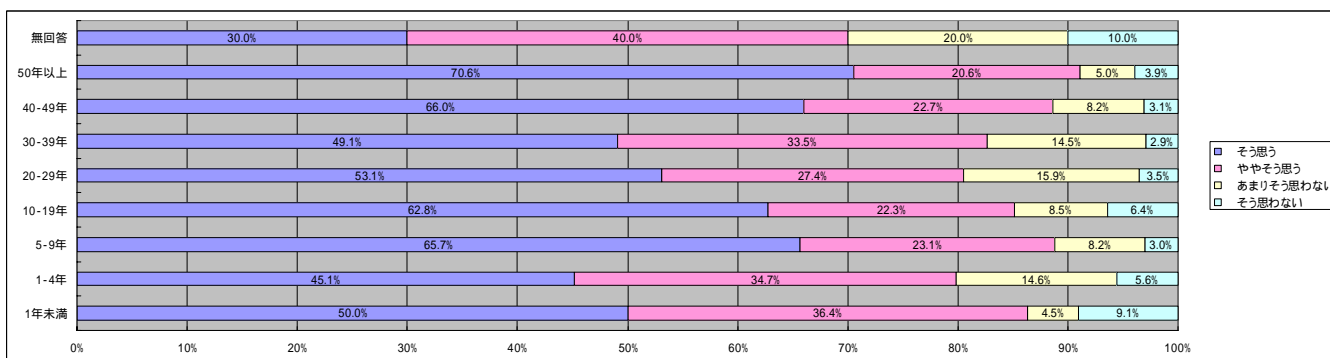
《男女別》



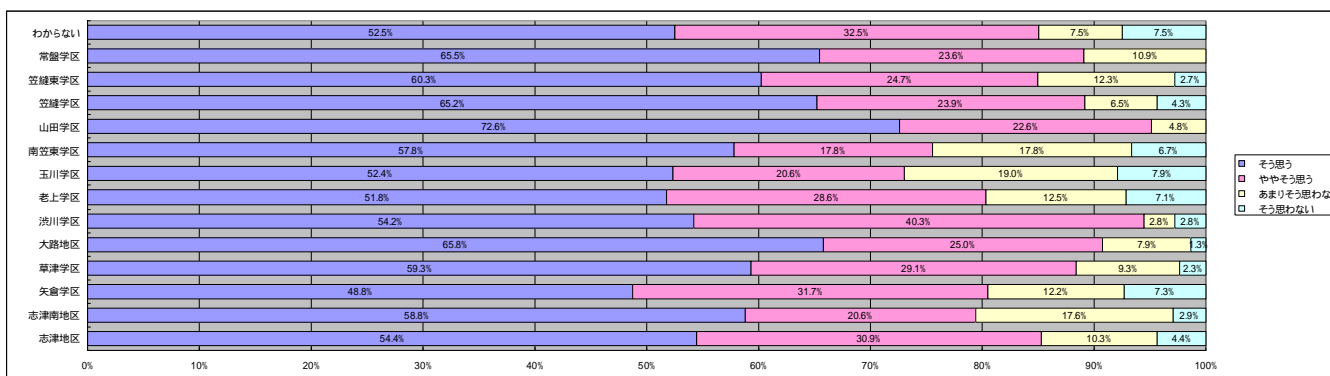
《年代別》



《居住年数別》



《居住地別》



設問

問 1 3 . あなたは、草津川廃川敷地を、どのような状態にするべきだと思いますか。
あてはまるものすべてにをつけてください。

(1)全体

・「公園」が21.5%で最も多く、次いで「防災拠点」(13.9%)、「自然空間」(13.8%)の順となっている。

(2)男女別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「公園」で最も多く、その他に「防災拠点」、「自然空間」の回答が多くなっている。

(3)年代別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「公園」で最も多く、その他に「防災拠点」、「自然空間」の回答が多くなっている。

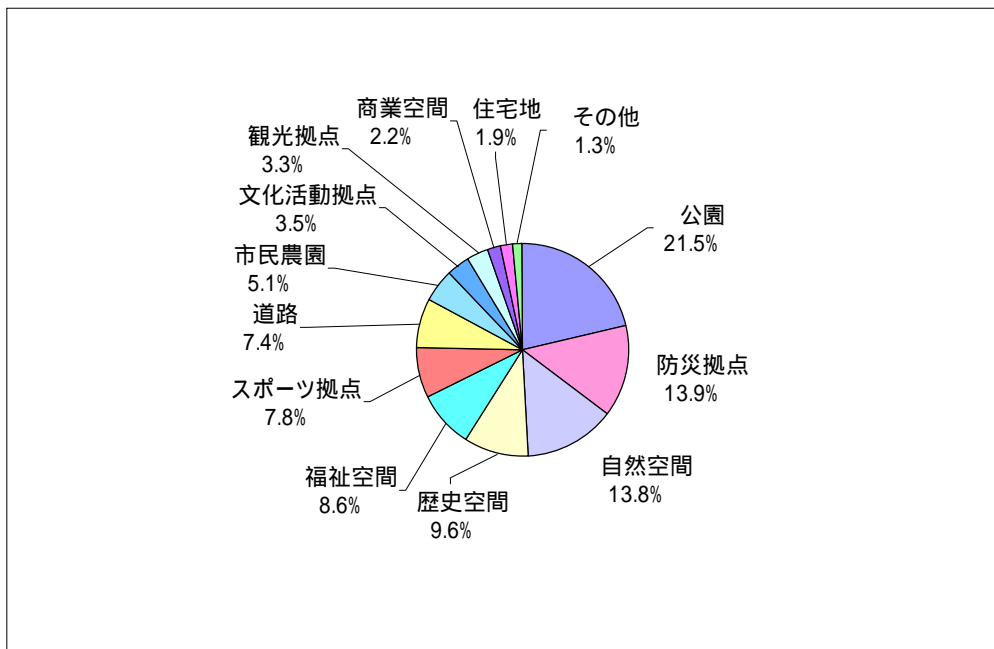
(4)居住年数別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「公園」で最も多く、その他に「防災拠点」、「自然空間」の回答が多くなっている。

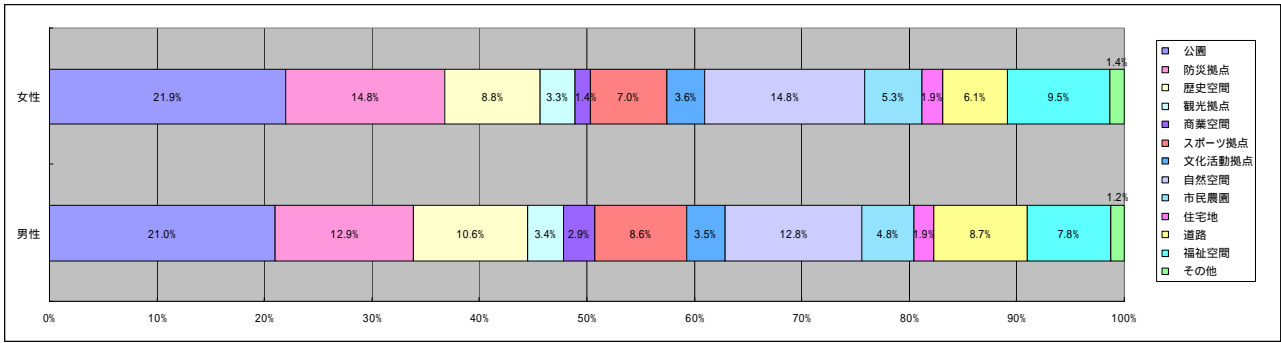
(5)居住地別

・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「公園」で最も多く、その他に「防災拠点」、「自然空間」の回答が多くなっている。

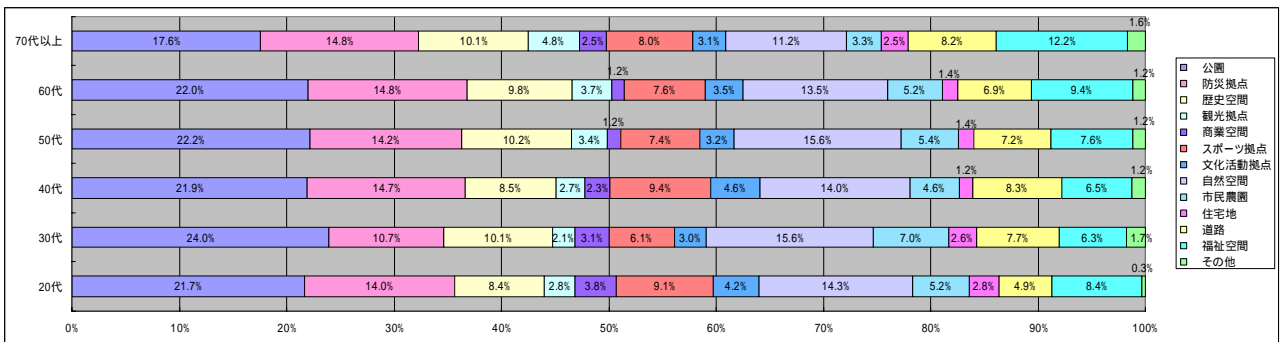
《全体》



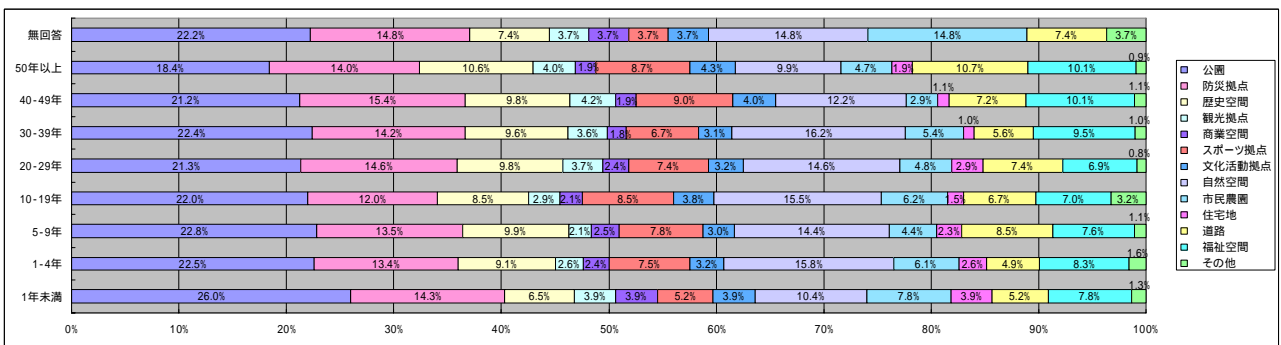
《男女別》



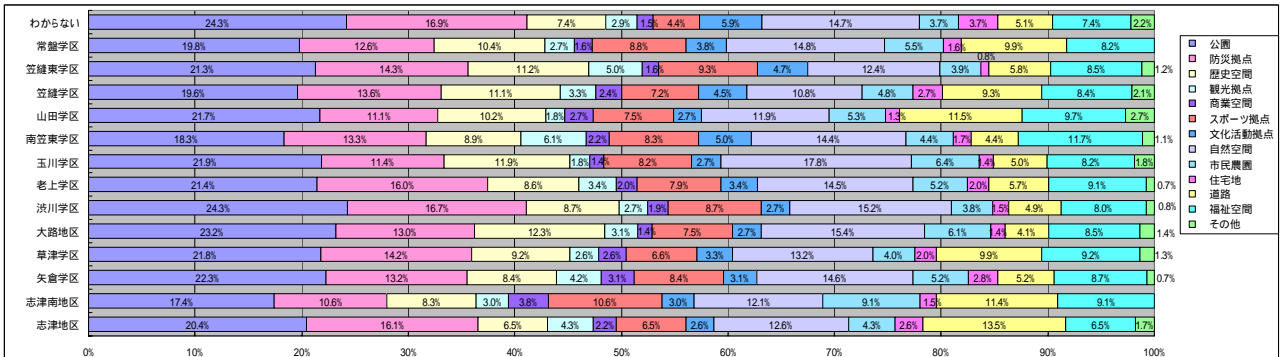
《年代別》



《居住年数別》



《居住地別》



設問

問14. 問13で選ばれた項目の中で、優先して実現すべきであると思われるものを3つまで選んで、番号を記入してください。また、選ばれたものは特にどの辺りに必要であると思いますか。右ページの位置図にある「Aゾーン」、「Bゾーン」、「Cゾーン」の中から選び、該当する選択肢の欄に印をつけてください。また、より具体的な場所があれば、右ページの位置図に下の例にならって記入してください。

(1)Aゾーン

・「公園」が28.5%で最も多く、次いで「歴史空間」(17.4%)、「防災拠点」(11.5%)、「道路」(10.3%)の順となっている。

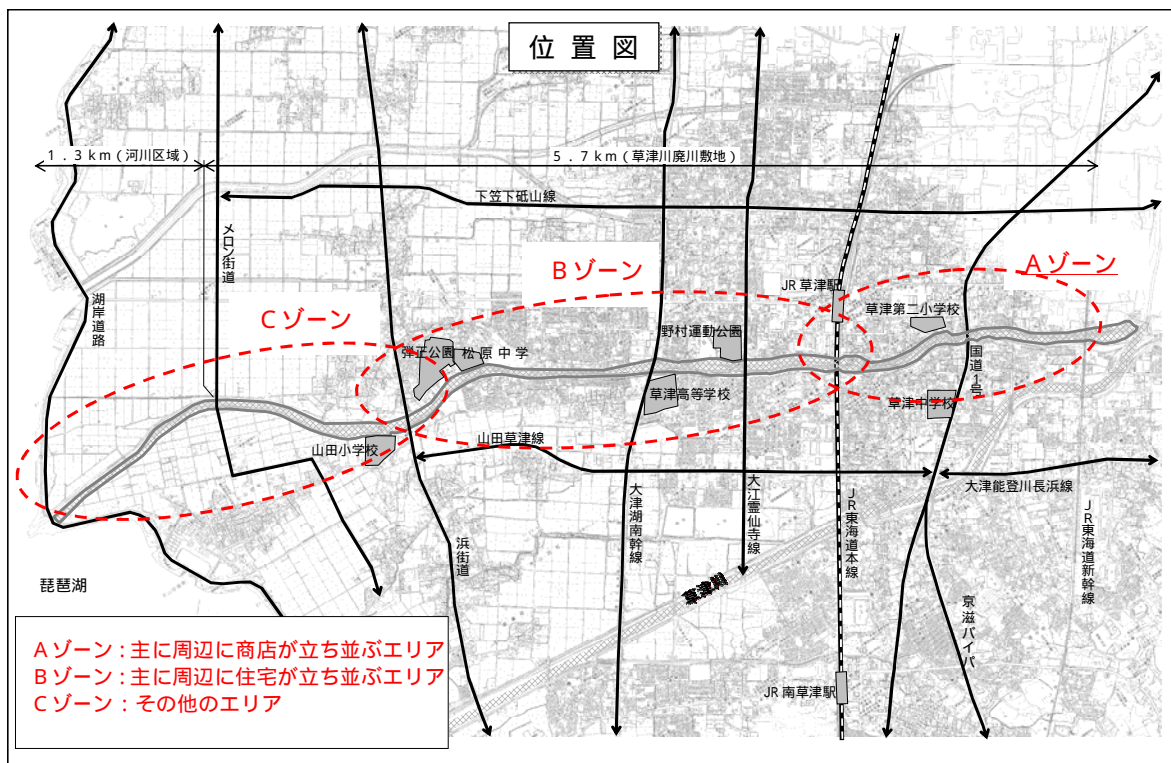
(2)Bゾーン

・「公園」が29.1%で最も多く、次いで「防災拠点」(19.9%)、「道路」(11.4%)の順となっている。

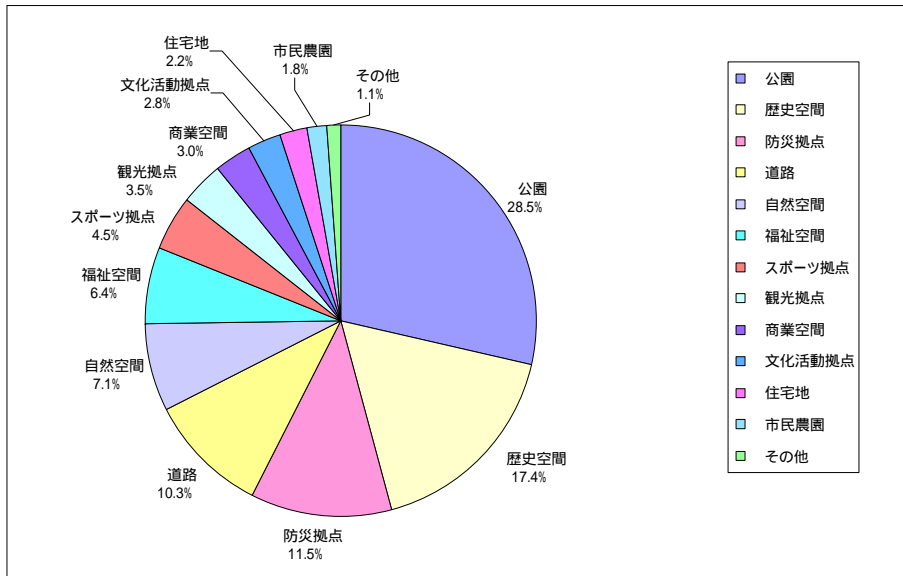
(3)Cゾーン

・「自然空間」が32.7%で最も多く、次いで「公園」(17.5%)、「市民農園」(10.0%)、「道路」(10.0%)の順となっている。

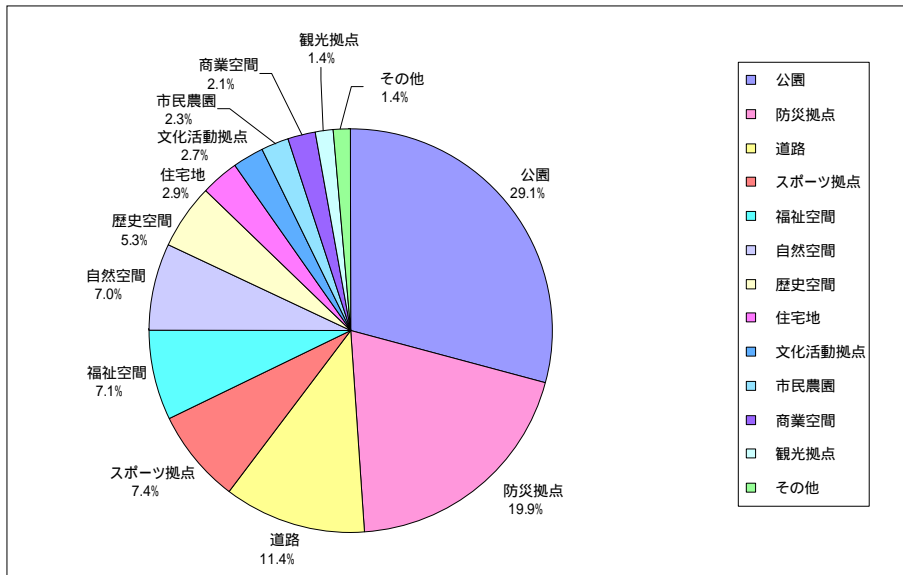
・Cゾーンでは、「自然空間」が32.7%を占めており、他のAゾーン、Bゾーンと異なり、自然の生態系を残した空間にしてほしいという人が多い。



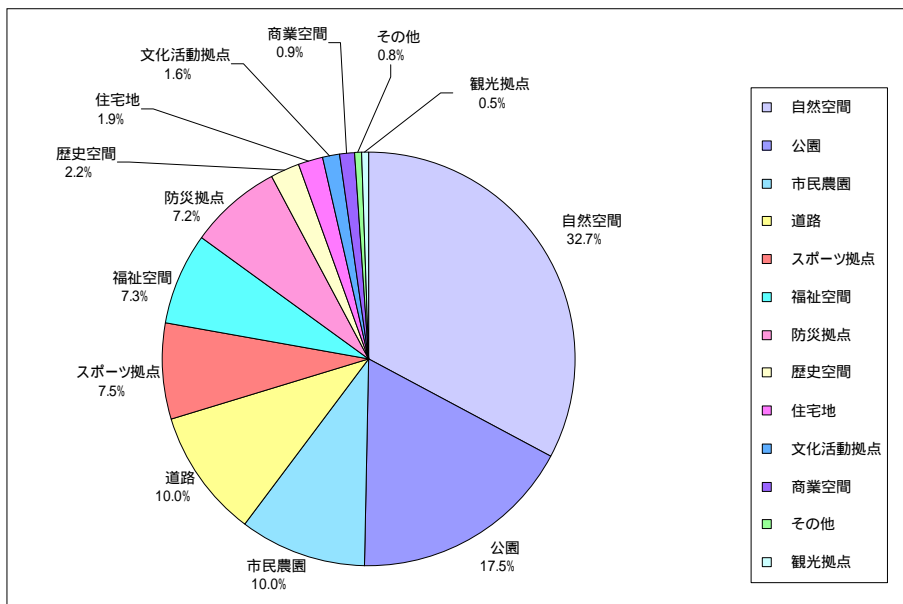
《Aゾーン》



《Bゾーン》



《Cゾーン》



設問

問 15 . 天井川であった旧草津川は高い堤防が特徴となっていますが、整備する場合、堤防を残すべきだと考えますか。あてはまるもの1つにをつけてください。

(1)全体

- ・「堤防は部分的に残した方が良い」が46.3%で最も多く、次いで「わからない」(21.2%)、「旧草津川の全域で堤防は残した方が良い」(20.0%)の順となっている。
- ・「堤防はすべて撤去した方が良い」は12.4%であり、堤防の全撤去を望んでいる人は約1割で少数である。

(2)男女別

- ・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「堤防は部分的に残した方が良い」が最も多い。

(3)年代別

- ・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「堤防は部分的に残した方が良い」が最も多い。
- ・70代以上については、「堤防はすべて撤去した方が良い」が23.4%であり、他年代と比較して堤防の全撤去を望む人が多い。

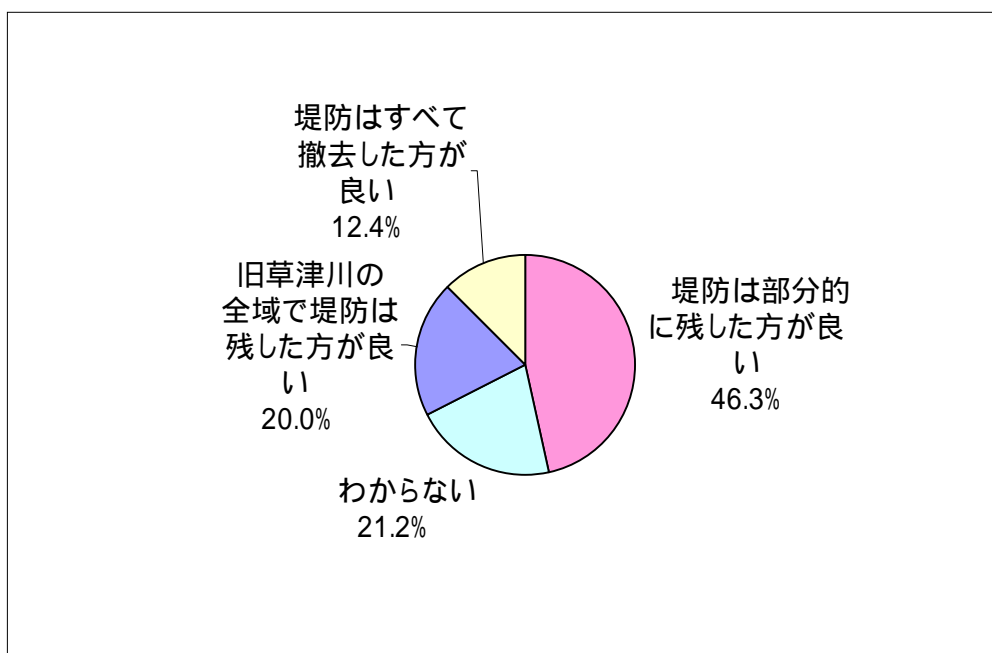
(4)居住年数別

- ・居住年数が1年未満を除いては、(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「堤防は部分的に残した方が良い」が最も多い。
- ・居住年数が40年以上については、「堤防はすべて撤去した方が良い」が20%以上であり、他居住年数と比較して堤防の全撤去を望む人が多い。

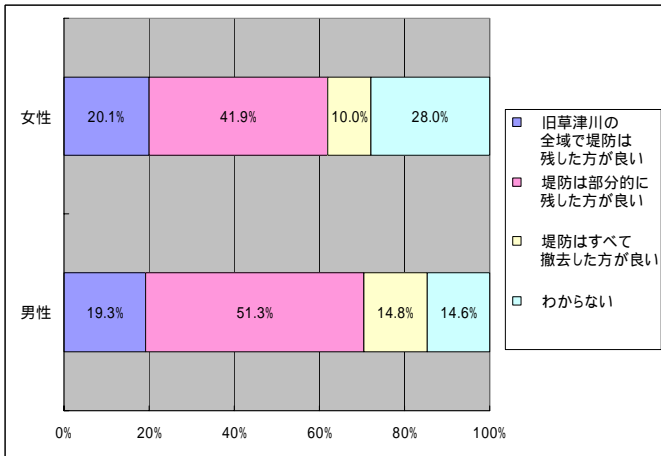
(5)居住地別

- ・(1)全体と傾向はほぼ変わらず、「堤防は部分的に残した方が良い」が最も多い。
- ・旧草津川沿いの大路地区については、「旧草津川の全域で堤防は残した方が良い」が39.5%であり、他居住地と比較して堤防の全保存を望む人が多い。

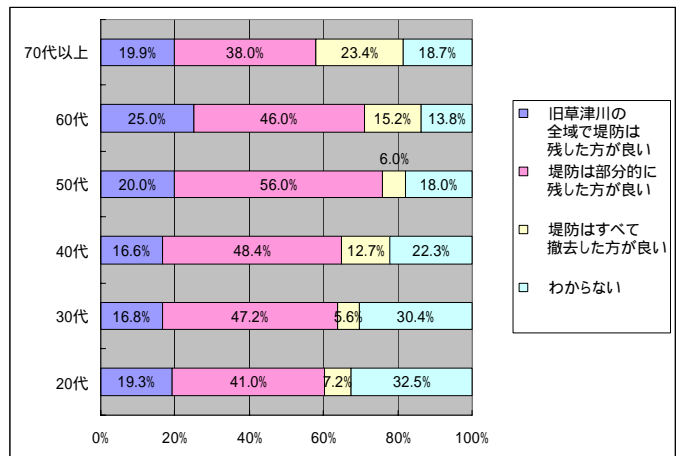
《全体》



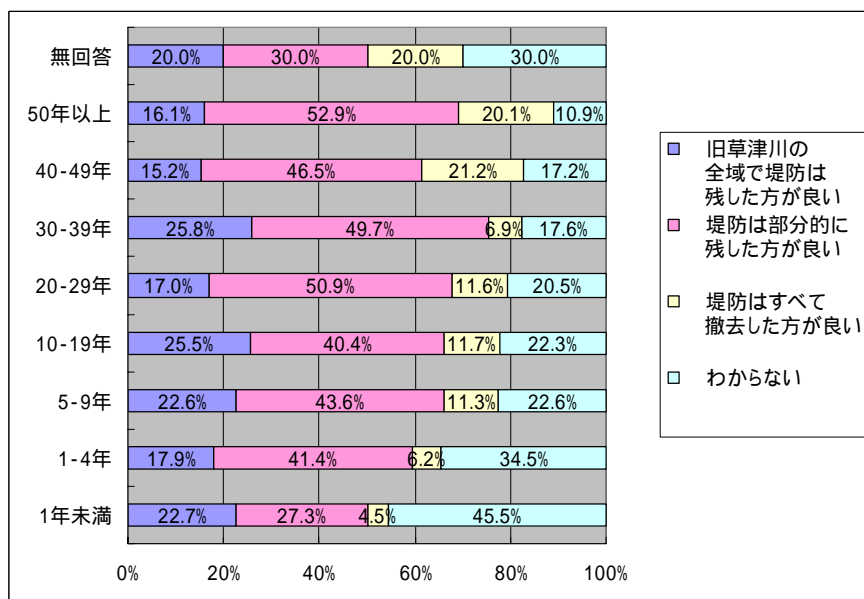
《男女別》



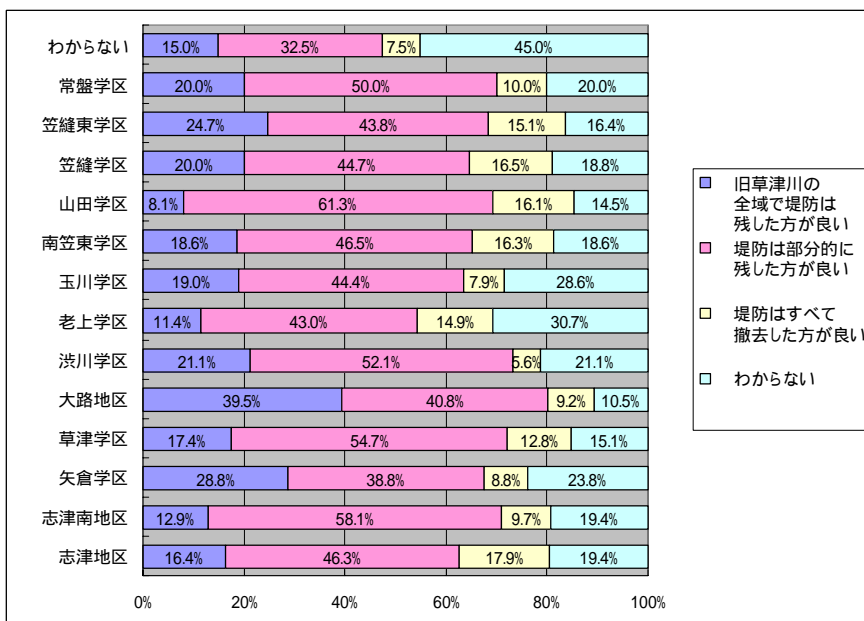
《年代別》



《居住年数別》



《居住地別》



設問

問 16 . 草津川廃川敷地の整備に関して、あなたのご意見をご自由にお書きください。
 (例えば、整備の必要な箇所、どのような空間にしたら良いか など)

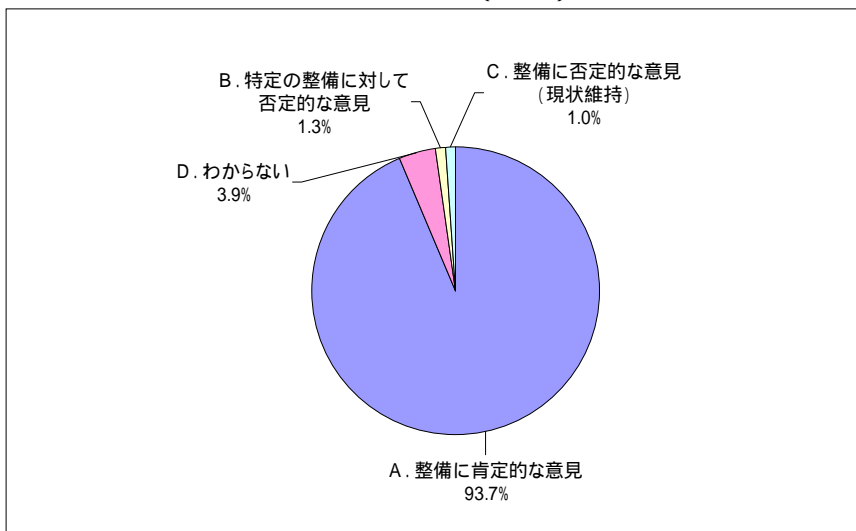
(1)意見の傾向(全体)

・「整備に肯定的な意見」が 93.7%で最も多く、次いで「わからない」(3.9%)、「特定の整備に対して否定的な意見」(1.3%)、「整備に否定的な意見(現状維持)」(1.0%)の順となっており、整備に肯定的な人が大多数を占めている。

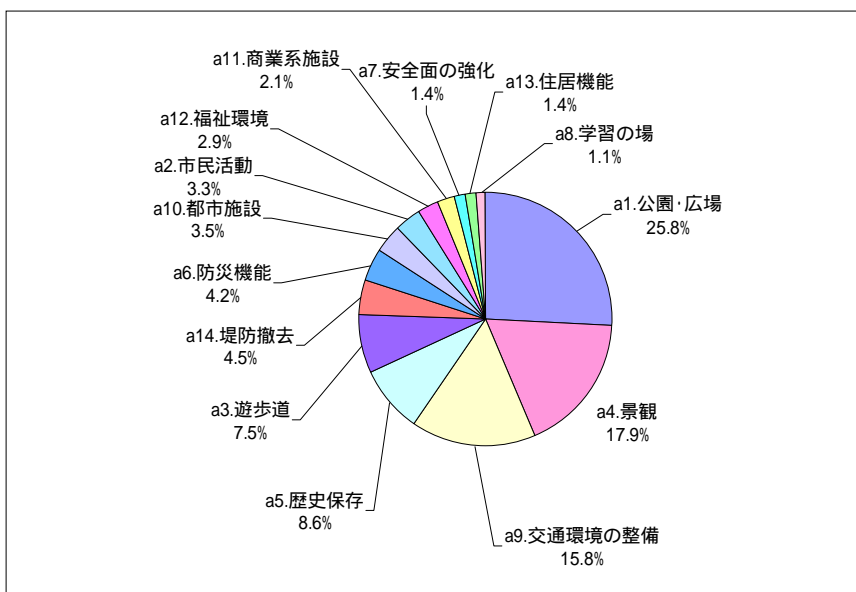
(2) 意見の傾向(整備に肯定的な意見)

・「公園・広場」が 25.8%で最も多く、次いで「景観」(17.9%)、「交通環境の整備」(15.8%)の順となっている。

《意見の傾向(全体)》



《意見の傾向(整備に肯定的な意見)》



資 料

資料 - 1 アンケート調査票

草津川廃川敷地の土地活用に関する市民アンケート調査 ご協力をお願い

日ごろから市政に対しまして、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、草津市では、平成14年に新草津川が通水開始されたことにより、廃川となった旧草津川（草津川廃川敷地（JR東海道新幹線～メロン街道）約5.7km、河川区域（メロン街道～琵琶湖岸）約1.3km）において、その土地活用の方向性を定めるべく、「草津川廃川敷地土地活用基本構想」の策定作業の準備を進めているところです。

そこで、本市の大規模公共空間である草津川廃川敷地のあり方について、市民の皆さまからのご意見をお伺いし、基本構想策定の参考にしたいと考えています。

何かとお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

平成22年5月
草津市長 橋川 渉

《調査票へのご記入にあたって》

この調査には、平成22年5月15日現在で、本市にお住まいの20歳以上の皆さまの中から3,000人を無作為に選んで、ご協力をお願いしています。

ご回答は、ご本人が記入してください。

何らかの理由でご本人による回答が難しい場合は、ご本人のお考えを尊重し、代理の方がご記入いただきますようお願いいたします。

調査結果は、所定の目的にのみ使用し、すべての回答内容は統計的に処理して、プライバシーの保護に十分留意いたします。

本アンケート調査票には、該当する番号に 印をつけていただく設問と、具体的にご意見をお書きいただく設問とがあります。

設問に従って、鉛筆かボールペンではっきりと記入してください。なお、設問上での「草津川廃川敷地」とは、草津川廃川敷地（JR東海道新幹線～メロン街道）約5.7km と河川区域（メロン街道～琵琶湖岸）約1.3km を合わせた約7.0kmを指します。

（なお、位置図については、5ページをご覧ください。）

個別のご意見に対しての返答はいたしませんので、ご了承ください。

ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて封をし、平成22年6月8日(火)までに投函してください。（切手、差出人の記名は不要です。）

（調査に関するお問い合わせ先）

草津市役所 総合政策部 企画調整課

〒525-8588 草津市草津三丁目13番30号 電話077-561-6029

あなた(あて名の方)ご自身のことについておたずねします。

【問1】 あなたの性別はどちらですか。

男性	女性
----	----

【問2】 あなたの年齢(年代)をお答えください。あてはまるもの1つにをつけてください。

20代	30代	40代	50代	60代
70代以上				

【問3】 あなたは、どれくらいの期間、草津市に住んでおられますか。およその居住年数を数字で記入してください。また、転入・転出について、あてはまるもの1つにをつけてください。

草津市に およそ_____年 居住している	(数字を記入)
生まれてからずっと住んでいる	転入してきた
草津市に生まれて、一度草津市を離れたが、現在は草津市に住んでいる	(いずれかに を)

【問4】 あなたのお住まいはどちらですか。あてはまるもの1つにをつけてください。

志津地区	志津南地区	矢倉学区
草津学区	大路地区	渋川学区
老上学区	玉川学区	南笠東学区
山田学区	笠縫学区	笠縫東学区
常盤学区		
わからない(町名または自治会名_____)		

“あなたと草津川・廃川敷地の関わり”についておたずねします。

【問5】 旧草津川は、社会科の教科書に掲載されるなど、全国的に有名な「天井川」であることをあなたは知っていましたか。あてはまるもの1つにをつけてください。

よく知っていた	知っていた	ほとんど知らなかった	全く知らなかった
---------	-------	------------	----------

【問6】 旧草津川が廃川になる前に、あなたは川や川辺で遊んだり、散歩したり、くつろいだりするために利用されたことがありましたか。あてはまるもの1つにをつけてください。(ただし、通過のみの利用は除きます。)

よく利用した	時々利用した	あまり利用しなかった	全く利用しなかった
--------	--------	------------	-----------

【問7】 問6で、「よく利用した」、「時々利用した」を選ばれた方におたずねします。

旧草津川をどのような目的で利用されておりましたか。あてはまるものすべてにをつけてください。

散歩	ジョギング	サイクリング	スポーツ
花見	植物・昆虫採集	自然観察	写真撮影
水遊び	魚釣り		
その他の利用 (_____)			

【問8】 現在、あなたは草津川廃川敷地を利用されることはありますか。あてはまるもの1つに をつけてください。(ただし、通過のみの利用は除きます。)

ほぼ毎日利用している

1週間に2～3回程度利用している

1ヶ月に2～3回程度利用している

半年に1～2回程度利用している

全く利用していない

1週間に1回程度利用している

1ヶ月に1回程度利用している

1年に1回程度利用している

【問9】 問8で、～ を選ばれた方におたずねします。

草津川廃川敷地をどのような目的で利用されますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

散歩

ジョギング

サイクリング

スポーツ

花見

植物・昆虫採集

自然観察

写真撮影

その他の利用 (

)

【問10】 あなたは、旧草津川に堤防があることについて、どのように感じておられますか。あてはまるもの1つに をつけてください。

良いと感じる

良くないと感じる

どちらでもない

【問11】 問10で、なぜ、そのように感じたのか、具体的に理由をお書きください。

(具体的な理由)

“今後の草津川廃川敷地整備のあり方”についておたずねします。

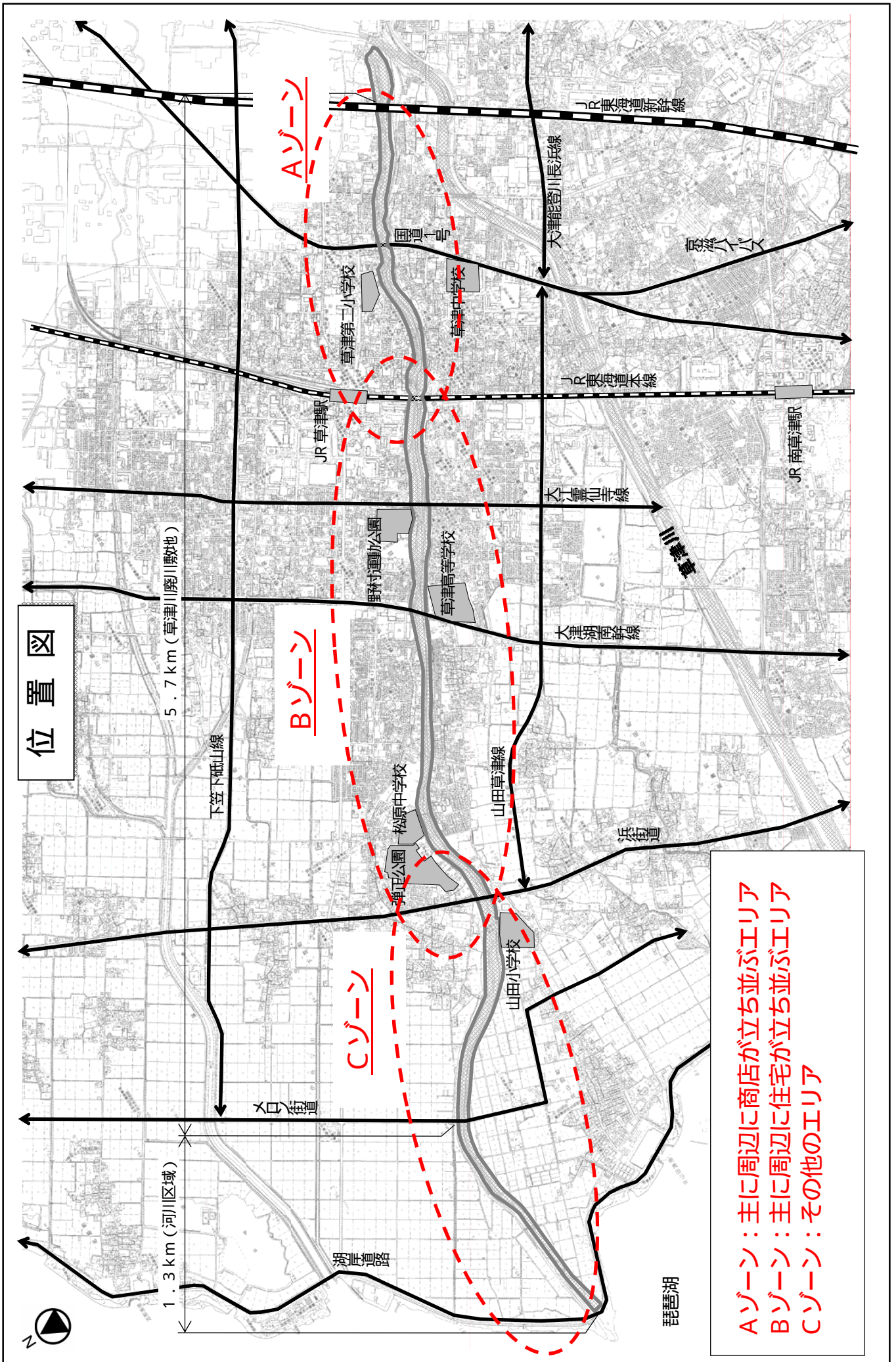
【問12】 旧草津川は、平成14年に廃川となりましたが、抜本的な整備が行われずに現在に至っています。あなたは、草津川廃川敷地を整備する必要があると思いますか。あてはまるもの1つに をつけてください。

そう思う

ややそう思う

あまりそう思わない

そう思わない



位置図

Aゾーン：主に周辺に商店が立ち並びエリア
 Bゾーン：主に周辺に住宅が立ち並びエリア
 Cゾーン：その他のエリア

【問15】 天井川であった旧草津川は高い堤防が特徴となっていますが、整備する場合、堤防を残すべきだと考えますか。あてはまるもの1つにをつけてください。

旧草津川の全域で堤防は残した方が良い	堤防は部分的に残した方が良い
堤防はすべて撤去した方が良い	わからない

【問16】 草津川廃川敷地の整備に関して、あなたのご意見をご自由にお書きください。
(例えば、整備の必要な箇所、どのような空間にしたら良いか など)

(これでアンケートは終わりです。ご協力、ありがとうございました。)

ゾーン	ゾーン1 (湖岸道路～メロン街道)	ゾーン2 (メロン街道～浜街道)	ゾーン3 (浜街道～大津湖南幹線)	ゾーン4 (大津湖南幹線～JR琵琶湖線)	ゾーン5 (JR琵琶湖線～国道1号)	ゾーン6 (国道1号～金勝川合流部)
1 草津川廃川敷地整備基本計画 (平成14年5月)	<p>【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水域から陸域へと緩やかに環境条件が変化するようなエコトーン(推移帯)機能の保全 湖岸部へのつながりのゾーン <p>【導入機能】</p> <p>「緑」</p> <ul style="list-style-type: none"> 河口からメロン街道までの約1.3kmをピオトープ保全区間とする。 「交通」 湖岸とつながる自転車・歩行者空間としてサイクリングロード等を整備する。 	<p>【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺の農業地域にマッチングしたゆとりある空間整備 <p>【導入機能】</p> <p>「歴史的空間」</p> <ul style="list-style-type: none"> 浜街道との交差。(街道文化の継承) 「緑」 豊かな自然環境を里山的な空間として保全していく。 旧河川の中の自然的要因の面影を残すよう配慮し、景観林等を保全する。 「交通」 ゆとりある交通空間を確保する。 湖岸とつながる自転車・歩行者空間としてサイクリングロード等を整備する。 「防災」 浜街道と連絡できる防災空間として位置付ける。 	<p>【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 閑静な住居地域のゆとりある生活環境空間の創出 <p>【導入機能】</p> <p>「歴史的空間」</p> <ul style="list-style-type: none"> 芦浦道との交差。(街道文化の継承) 「緑」 住居地域の静かで良好な沿道環境・憩いと交流のための緑地空間を確保する。 既存公園・都市施設との連携をはかる空間とする。 市街地の初期雨水を浄化する施設を整備する。(市街地排水浄化対策施設) 「交通」 ゆとりある交通空間を確保する。 南北道路(大津守山近江八幡線等)と接続させる。 「防災」 中学校、体育館、運動公園等の避難場所との連携をはかる。 共同溝、防火水槽等の防災施設設置のための空間を確保する。 南北道路(大津守山近江八幡線等)と連携できる防災空間として位置付ける。 	<p>【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 南北地域の連絡による地域間交流の活性化 <p>【導入機能】</p> <p>「歴史的空間」</p> <ul style="list-style-type: none"> JR琵琶湖線との交流部の近代化遺産を保全する。(煉瓦造りのトンネル、鉄道上の河川跡) 「緑」 運動公園、市民体育館等と一体化した交流空間を確保する。 市街地の初期雨水を浄化する施設を整備する。(市街地排水浄化対策施設) 「交通」 ゆとりある交通空間を確保する。 南北道路((都)大津湖南幹線、(都)大津大雲仙寺線等)と接続させる。 「防災」 運動公園、市民体育館等の避難場所との連携をはかる。 共同溝、防火水槽等の防災施設設置のための空間を確保する。 南北道路((都)大津湖南幹線、(都)大津大雲仙寺線等)と連携できる防災空間として位置付ける。 	<p>【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史性を生かした空間整備 南北地域の連絡による地域間交流の活性化 <p>【導入機能】</p> <p>「歴史的空間」</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的遺産として天井川の堤体を保全する。(一部切り下げ) 旧東海道、旧中山道の街道文化を継承する歴史空間として保全する。 「緑」 街中の憩いと交流のための空間とする。 桜並木を保全する。 「交通」 ゆとりある交通空間を確保する。 南北道路((都)宮町若竹線)と接続させる。 「防災」 市街地での防災空間(一時避難地)として位置付ける。 	<p>【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 草津市、栗東市のゆとりある共有空間としての利用 南北地域の連絡による地域間交流の活性化 <p>【導入機能】</p> <p>「歴史的空間」</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災公園の中で歴史資料の展示を検討する。 「緑」 栗東市の緑のネットワークとの連携の拠点として整備する。 「交通」 ゆとりある交通空間を確保する。 南北道路((都)青地新田坊袋線等)と接続させる。 「防災」 金勝川合流点付近は、防災公園として整備する。(河川区域として残す。) 南北道路((都)青地新田坊袋線等)と連携できる防災空間として位置付ける。
2 市の利用計画(案) (平成21年12月)	<p>【利用計画】</p> <p>「自然公園の土地利用」</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川区域で多くの自然があることから、ピオトープ、親水空間としての整備を行う。 	<p>【利用計画】</p> <p>「自然と親しむゾーン」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然的要素が残っている地域であり、また周辺に民家も少ないことから、景観林等を保全することで、自然的要素を残しながら、自然と触れ合える場の提供をする。(釣堀やオートキャンプ場など) 	<p>【利用計画】</p> <p>「農業体験ゾーン」</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺に田地等も多いことから、農業体験(市民農園、野菜市)ができる空間とする。 ただし、一部を弾正公園の駐車場の拡張に一部使用する。また、必要に応じて多目的スポーツパークや多目的広場の設置(防災広場として兼用する)を行う。 	<p>【利用計画】</p> <p>「公共施設の拡張と再構築」</p> <ul style="list-style-type: none"> 野村運動公園、隣接する土地開発公社所有地を一体的に活用し、スポーツ施設の区域拡張・再構築を図る。 多目的グラウンド、芝生広場の設置、また市内の社会体育施設のあり方の検討を行いながら、現体育館の代替も視野に入れて、敷地の再配置を行う。 	<p>【利用計画】</p> <p>「歴史的空間の保全」</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地に接する地域であることから、市民に憩いの場の提供をする。 天井川の形態を活かした歴史公園 こどもふれあい広場 中心市街地の再生を視野に入れたパーク&ライド駐車 	<p>【利用計画】</p> <p>「歴史的空間の保全」</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地に接する地域であることから、市民に憩いの場の提供をする。 天井川の形態を活かした歴史公園 こどもふれあい広場 中心市街地の再生を視野に入れたパーク&ライド駐車
3 旧草津川広場整備ワークショップ市民提案図 (平成20年12月)	—	—	—	—	<p>【テーマ】</p> <p>「みんなのいこえる緑の広場」</p> <ul style="list-style-type: none"> -暫定利用のため、整備は最小限に- (栄橋～草津川橋) 中山道の渡しの再現、こども広場、催し広場、お花見広場、グランドゴルフ場、ガーデニング等を整備する。 	—
4 旧草津川廃川敷地管理協定 (平成17年6月)	—	<p>【暫定活用ゾーン設定】</p> <p>「自然的利用ゾーン」 (メロン街道～浜街道)</p> <ul style="list-style-type: none"> 草津川廃川敷地整備基本計画においてピオトープ保全区間として計画されている。これを活かし、自然を身近に親しめる場としての活用が望ましい。 	<p>【暫定活用ゾーン設定】</p> <p>「スポーツと健康ゾーン」 (浜街道～野村運動公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃川敷地にはゲートボール場、沿川には野村運動公園、市立総合体育館等がある。これらの施設と連携した健康増進の場としての活用が望ましい。 	<p>【暫定活用ゾーン設定】</p> <p>「スポーツと健康ゾーン」 (浜街道～野村運動公園)</p> <p>「花と緑の文化ゾーン」 (野村運動公園～国道1号)</p>	<p>【暫定活用ゾーン設定】</p> <p>「花と緑の文化ゾーン」 (野村運動公園～国道1号)</p> <ul style="list-style-type: none"> 桜並木があり、地元住民による美化活動も行われてきた。近隣には歴史的史跡である宿本陣もあり、人々の憩いのスペースとしての活用が望ましい。 	<p>【暫定活用ゾーン設定】</p> <p>「遊びと広場のゾーン」 (国道1号～JR東海道新幹線)</p> <ul style="list-style-type: none"> 河道部分が平坦で幅が広い区間であり、近隣には小学校がある。小学生の自然学習の場として、また子供達の遊び場としての活用が望ましい。

アンケートでのエリア		Cゾーン		Bゾーン		Aゾーン	
市民アンケート結果		1位 自然空間 (32.7%)	5位 スポーツ施設 (7.5%)	1位 公園 (29.1%)	5位 福祉空間 (7.1%)	1位 公園 (28.5%)	5位 自然空間 (7.1%)
		2位 公園 (17.5%)	6位 福祉空間 (7.3%)	2位 防災拠点 (19.9%)	6位 自然空間 (7.0%)	2位 歴史空間 (17.4%)	6位 福祉空間 (6.4%)
		3位 市民農園 (10.0%)	7位 防災拠点 (7.2%)	3位 道路 (11.4%)	7位 歴史空間 (5.3%)	3位 防災拠点 (11.5%)	
		4位 道路 (10.0%)		4位 スポーツ施設 (7.4%)		4位 道路 (10.3%)	
導入機能(H14)	アンケート項目						
歴史	歴史空間	←				2位	
緑	公園	←		1位		1位	
	自然空間	←					
	スポーツ施設	←		4位			
	市民農園	←					
交通	道路	←		3位		4位	
防災	防災拠点	←		2位		3位	
ゾーンイメージ		潤いのある自然を生かした空間		市民に身近な生活空間		にぎわいのある歴史的な空間	
主な機能の例示		<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境の保全 ●自然に触れ合える空間 	<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境の保全 ●自然に触れ合える空間 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民に身近な生活空間 ●防災公園 ●福祉空間 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民に身近な生活空間 ●防災空間 ●中心市街地再生の拠点 ●観光の拠点 ●歴史的景観 ●福祉空間 ●交通結節点機能 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民に身近な生活空間 ●防災空間 ●中心市街地再生の拠点 ●観光の拠点 ●歴史的景観 ●福祉空間 ●交通結節点機能 	<ul style="list-style-type: none"> ●中心市街地再生の拠点 ●観光の拠点 ●歴史的景観 ●交通結節点機能